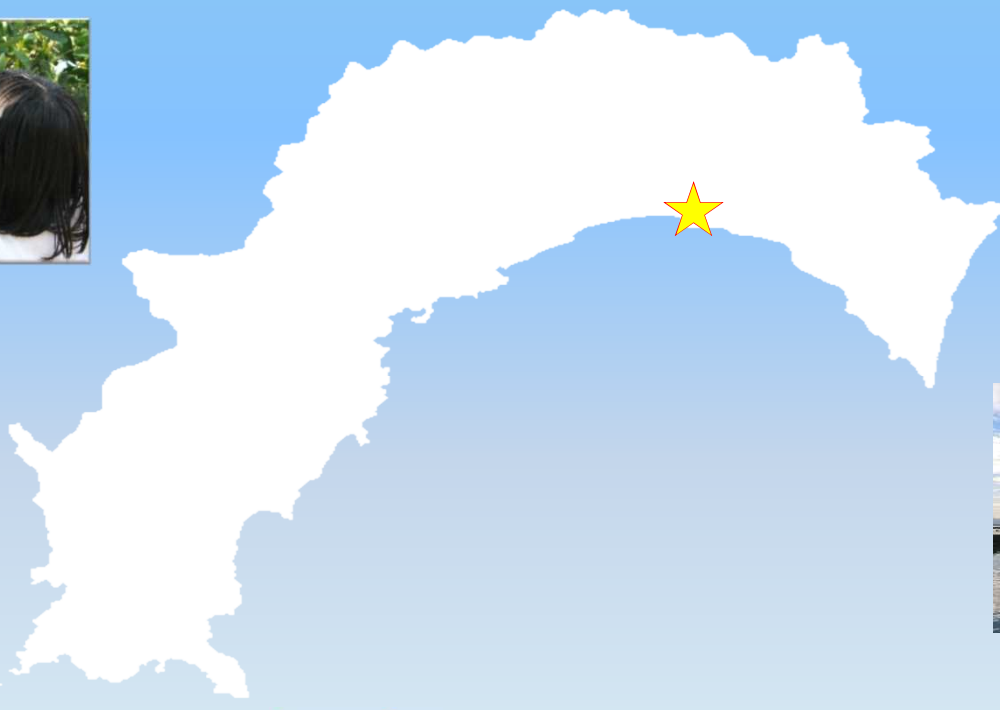


第 2 期

(案)

香 南 市 産 業 振 興 計 画



香南市

令和2年度 ○月





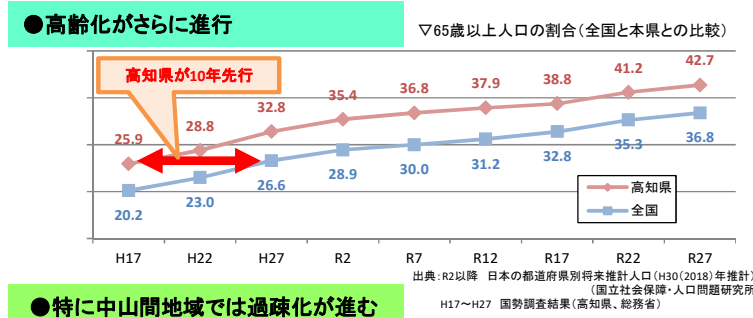
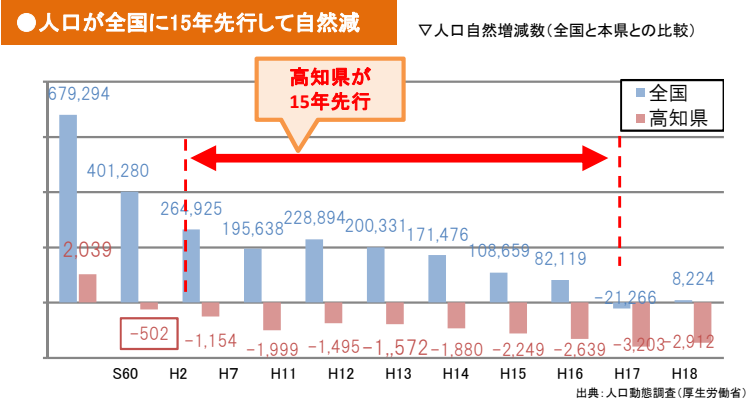
目次

- 人口減少の負のスパイラルに陥った高知県経済 (高知県産業振興計画より抜粋) … 1ページ
- 人口減少の負のスパイラルの克服に向けた高知県の取り組み (香南市産業振興計画より抜粋) … 2ページ
- 人口減少の負のスパイラルの克服に向けた香南市の取り組み (香南市人口ビジョン等より抜粋) … 3ページ
- 第1期 香南市産業振興計画の基本的な考え … 4ページ
- 第1期 香南市産業振興計画の各分野の取り組みと強化の方向性 … 5ページ
- 第2期 香南市産業振興計画の策定に向けて … 9ページ
- 第2期 香南市産業振興計画の取り組みを検証するための数値目標 … 11ページ
- 香南市産業振興計画 分野別部会の取組について (令和2年度版) … 12ページ
- 参考資料 … 21ページ

全国に先駆けて人口減少・高齢化社会に突入した高知県

「人口減少の負のスパイラル」のダメージが県経済の様々な面に表れる

高知県では、全国より15年先行して平成2年から人口が自然減の状態に陥り、人口減少による経済の縮みが若者の県外流出と特に中山間地域の衰退を招き、さらに経済が縮むことで県民の暮らしが一層苦しくなるという「人口減少の負のスパイラル」をたどってきました。

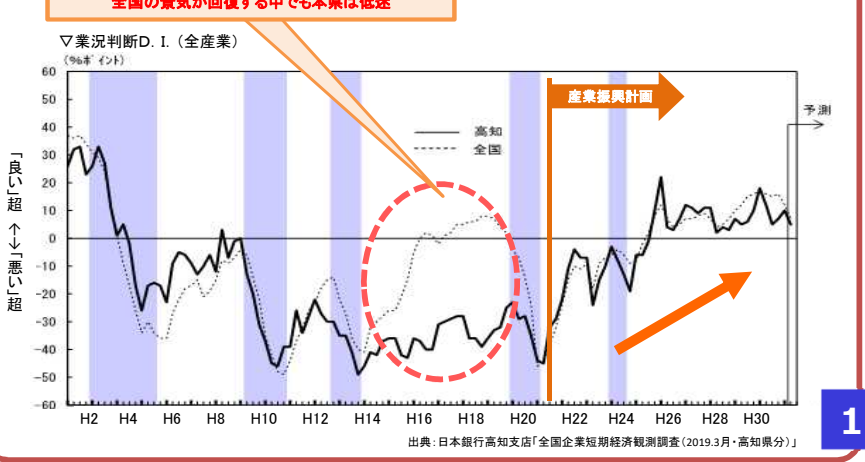
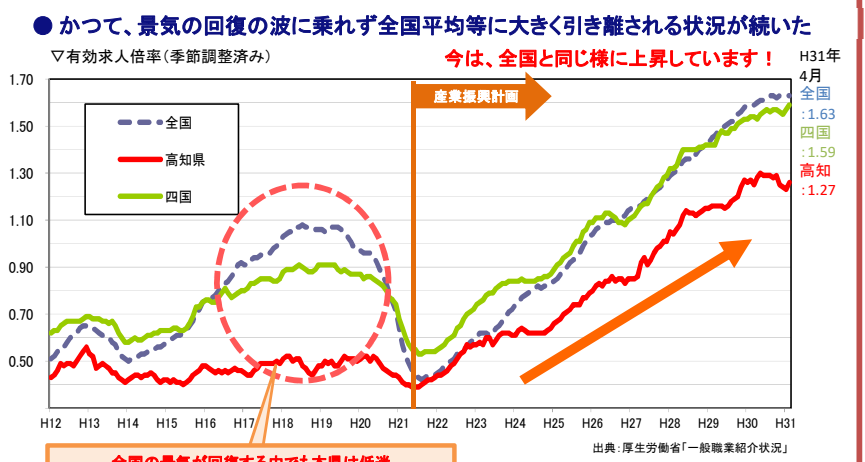
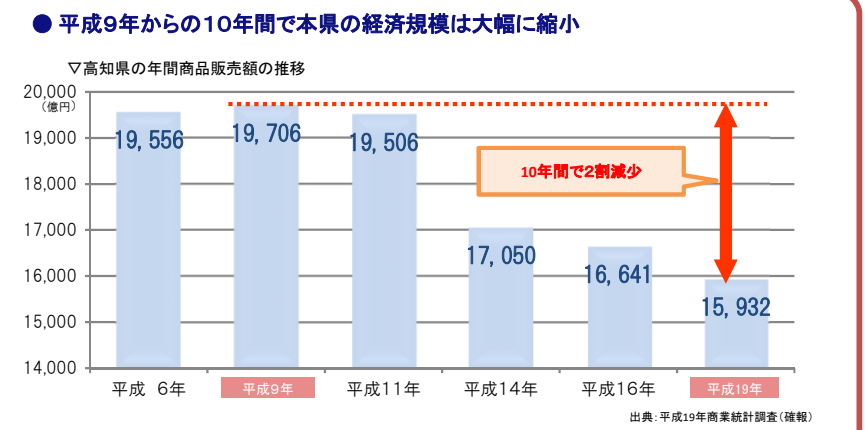
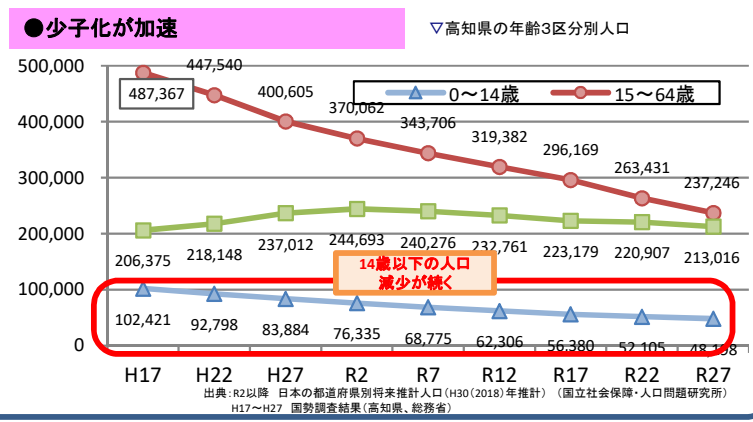


●特に中山間地域では過疎化が進む

▽県全体と県内中山間地域の人口の推移(昭和35年と平成27年の比較)

	S35	H27	S35→H27減少率
高知県全体	854,595人	728,276人	14.8%減
中山間地域	537,327人	285,379人	46.9%減

出典：平成28年高知県県勢調査



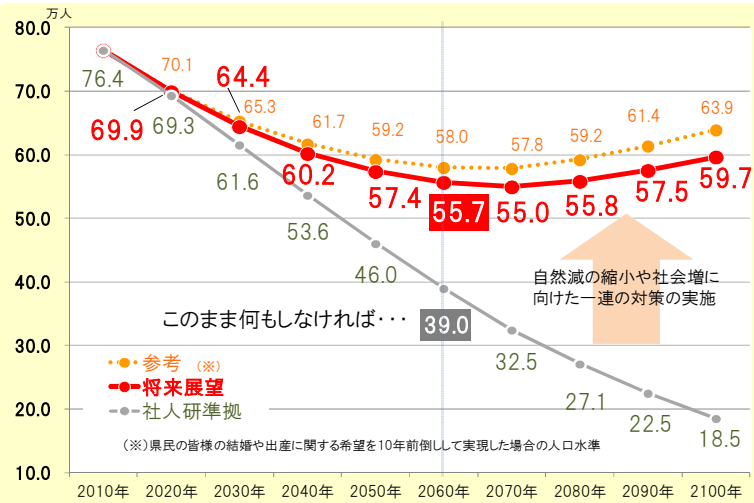


人口減少の負のスパイラルを克服することが高知県政における最大の課題です。この克服に向け、高知県においては「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に、2060年の県の人口を約55万7千人に踏みとどまらせ、将来的な人口の若返りと人口増への転換を目指すという『高知県人口の将来展望』を掲げて取り組みを全力で進めています。

《将来展望》 2060年：約55.7万人

※国の推計の39万人の約140%に相当
[現状(2015年):72.8万人]

○人口構造が若返る
年少人口割合は2020年から、生産年齢人口割合は2045年から上昇に転じる



若者の定着・増加

《将来展望》 2040年：1,000人の社会増
[現状(2018年度)：2,547人の社会減]

A 地産外商により雇用を創出する

B 若者の県外流出の防止
県外からの移住者の増加

出生率の向上

《将来展望》 2040年：2.07、2050年：2.27
[現状(2018年)：1.48]

出典：平成30年人口動態統計月報年計(概数)

D 希望をかなえる「結婚」「妊娠・出産」「子育て」

C 特に、出生率が高い傾向にある中山間地域の若者の増加
[出生率]「人口動態保健所・市区町村別統計(平成20年~24年)」
高知市：1.35
中山間地域：四万十町1.68、土佐町1.61、津野町1.60、芸西村1.56

高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略<平成31年度版>の構造

産業振興計画により推進

基本目標1 地産外商により安定した雇用を創出する

- A** ●成長に向けた「メインエンジン」をさらに強化する
- 成長の「壁」を乗り越える
- 成長を支える取り組みを強化する

数値目標

- ・雇用の創出 H28~R元：4,000人
- ・各産業分野における産出額等の増加 [これまでの成果]
- 雇用保険被保険者数 | H20:178千人→H30:197千人(+19千人)

基本目標2 新しい人の流れをつくる

- B** ●県内高校生等の県内就職の促進
- 移住の促進 ●人財の誘致

数値目標

- ・令和元年度に人口の社会増減をゼロにする [これまでの成果]
- 社会増減 | H16~20:▲3,396人/年、H21~25:▲1,625人/年
- H26~30:▲1,974人/年
- 移住者数 | H23:120組(241人)→H30:934(1,325人)

基本目標3 若い世代の「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

- D** ●ライフステージの各段階に応じた取り組みのさらなる推進
- 官民協働による少子化対策を県民運動として展開
- 女性の活躍の場の拡大

数値目標

- ・令和元年の合計特殊出生率 1.61 [これまでの成果] H20:1.36→H30:1.48

県民の皆様の希望をかなえるために設定した2050年の2.27の達成に向けた中間目標として設定

基本目標4 コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々の暮らしを守る

- C** ●中山間地域での小さな拠点(集落活動センター、あったかふれあいセンター)の整備促進
- コンパクトな中心部と小さな拠点を衛星としたネットワークの形成

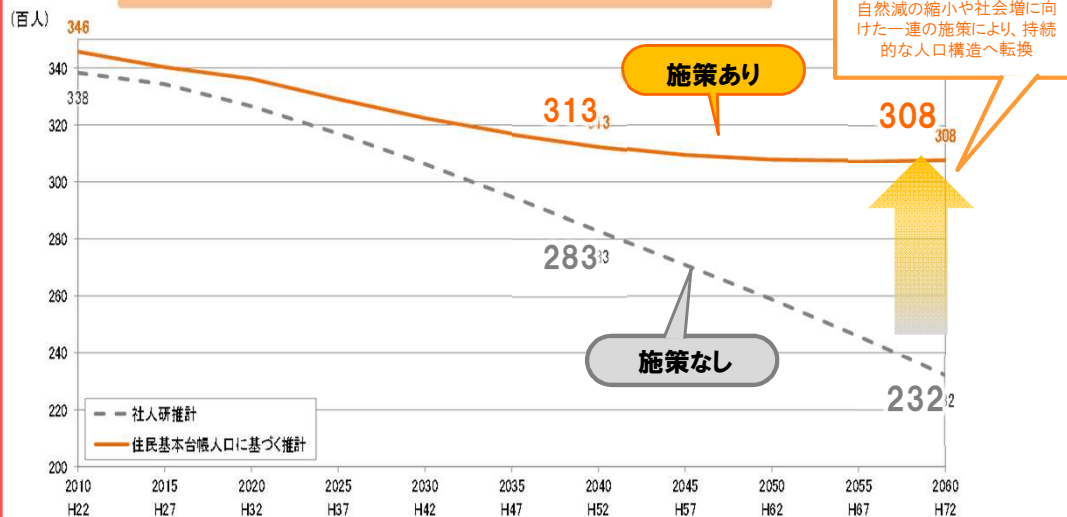
数値目標

- ・令和元年度末の集落活動センターの開設数 80ヵ所 など [これまでの成果] R元.5月現在:29市町村52ヵ所



- 人口減少の負のスパイラルを克服することが高知県同様に、香南市にとっても最大の課題です。
- この克服に向け、香南市においては「**香南市人口ビジョン**」に、2060年の市の人口を**約30,800人**に踏みとどめる将来展望を掲げました。
- その実現に向け、自然増の縮小や社会増に向けた一連の対策を講じるために、「**香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略**」を策定し、活力あるまちづくりを進めるための4つの基本目標を政策テーマと定め、講ずべき具体的な施策の取り組みを全力で進めています。

《将来展望》 2060年：約 3.8万人



出生・死亡（自然増減）

- 出生率は、高知県実施の「結婚・出産・子育てに関する意向調査」と香南市が実施した「結婚・出産・子育てに関する市民意向調査」の結果が類似傾向にあることから、高知県が設定しているように合計特殊出生率が2030年に1.84、2040年に2.07、**2050年に2.27まで段階的に上昇することを目指す**。
 <出生率の推移>現状(2015年):1.47 ▶ 2020年:1.64 ▶ 2030年:1.84 ▶ 2040年:2.07
- 死亡率については、現在と大きく変わらないと想定し、現在の傾向を維持することを目指す。

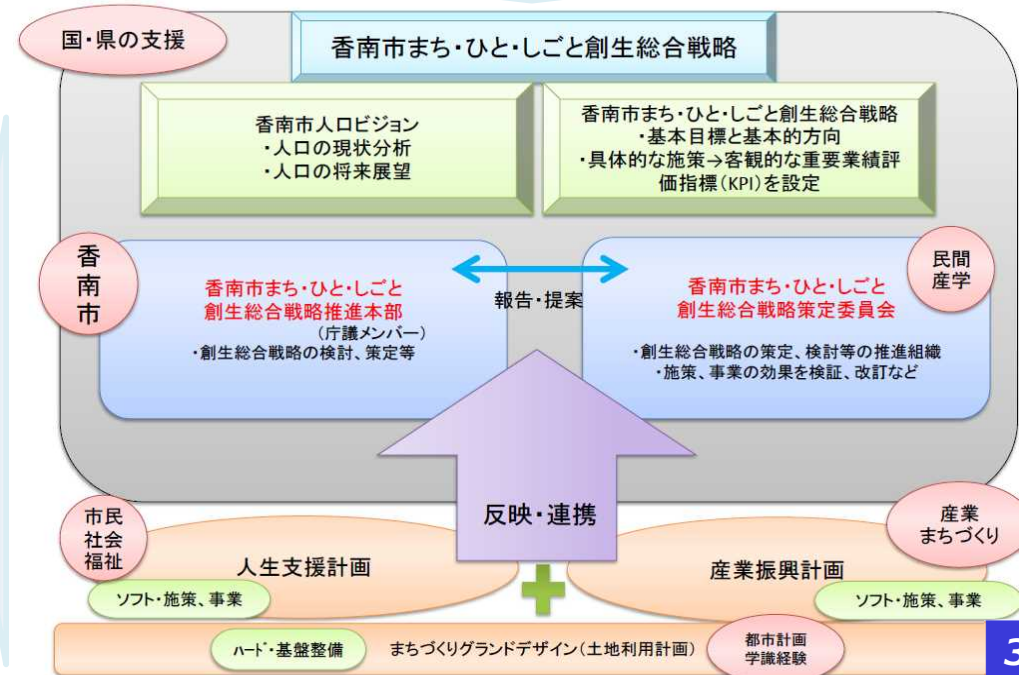
移動（社会増減）

- 転入者は減少し、10年後には転出者と転入者数が均衡していくが、移住促進、住宅開発、生涯活躍のまち等の施策に取り組むことで、転入者の減少を極力抑え、**2025年からは社会増約120人の状況が継続することを目指す**。

活力あるまちづくりを進めるために...

- ① 魅力ある産業を振興し、安定した雇用を創出する
- ② 新しい人の流れをつくる
- ③ 時代に合った地域をつくり、地域の連携による安心な暮らしをまもる
- ④ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境をつくる

▶ 「次世代」を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、安心して暮らし働ける香南市



I 高知県産業振興計画との関係性

◇ 高知県産業振興計画と連携を図り、香南市産業振興計画の基本事項を設定

■ 香南市産業振興計画の基本事項

- ① 目標年次
 - ・ 高知県産業振興計画の「目指す将来像」や「目標値の達成状況」との関係性を常に確認しながら当市計画を推進することで、県の取り組みとの整合を図る。
- ② 香南市が高知県のトップランナー
 - ・ 高知県産業振興計画の目標達成に期待される「高知県のトップランナー」としての位置づけを意識し、各種取り組みを位置付ける
- ③ 基本的方向

産業間の連携を強化

- ・ ものづくりを強化し、付加価値化を高める。
- ・ 県外からの観光客の誘致を図る。

足腰を強め、地力高める

- ・ 第1次産業を伸ばす。
- ・ 地域アクションプランの推進
- ・ 中山間対策の強化

新たな産業づくりに挑戦する

- ・ 新たな産業集積を目指す。

◇ 香南市の地域特性を生かせる将来像

高知県産業振興計画の実現を担う計画として、香南市の地域特性を活かせる将来像を設定する。

◇ 香南市の色を出す

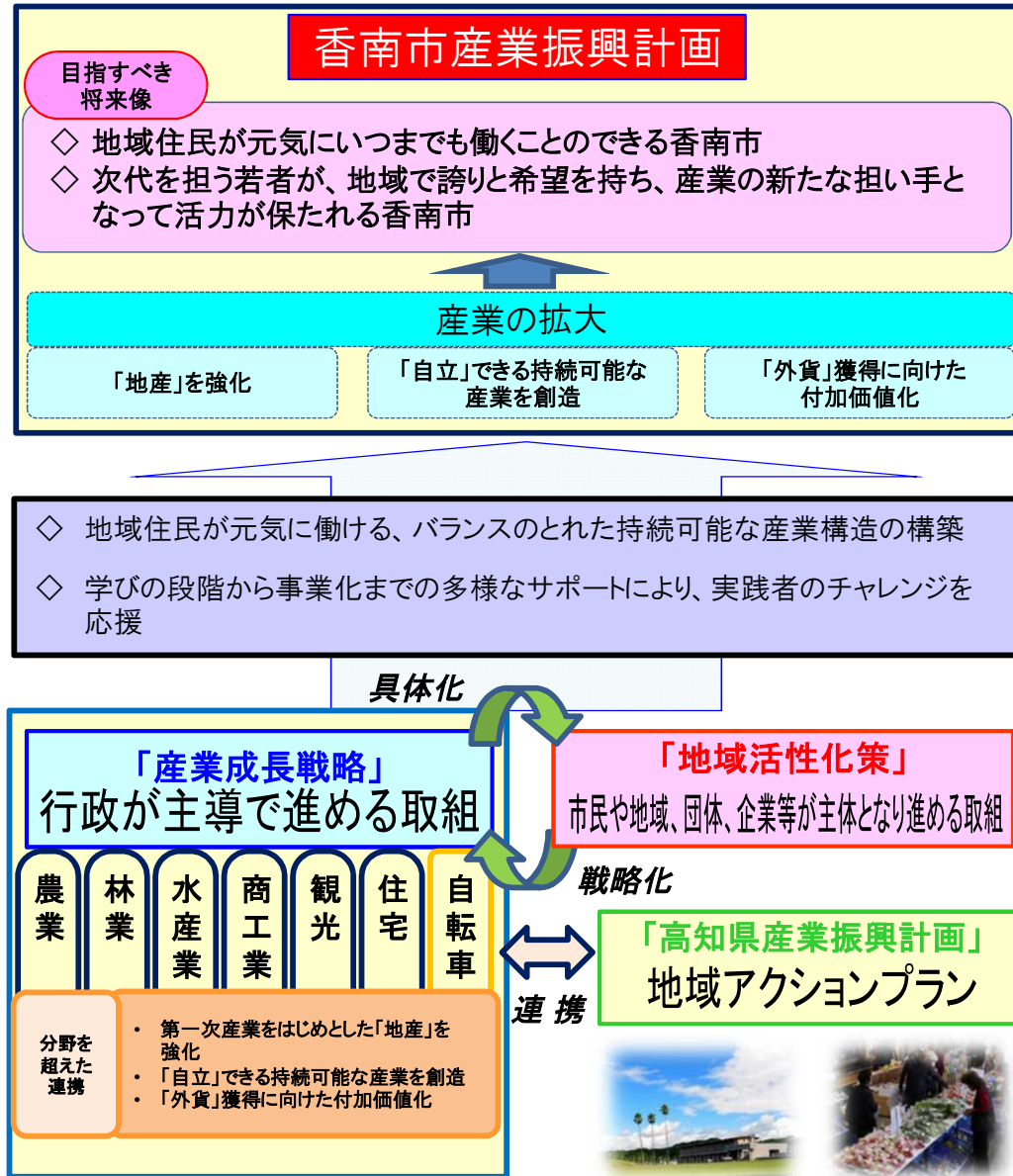
「香南市グランドデザイン」と連携して、香南市の特色を出すことができる横断的施策を位置付ける。

II 第1期香南市産業振興計画

香南市では、産業間・企業間・産業団体・市民・行政が連携し、農業・林業・水産業・商工業・観光・住宅の6つの分野別部会を構成し、行政が主導で進める『分野別産業成長戦略』と市民や地域・団体・企業等が主体となり進める『地域活性化策』による取り組みを推し進めることで、「地域住民が元気に働ける、バランスのとれた持続可能な産業構造の構築」に加え、「学びの段階から事業化までの多様なサポートにより、実践者のチャレンジを応援する体制」を築き、『地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市』・『次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市』の実現を目指すべく、平成27年度から平成31年度(令和元年度)までの5か年計画として、「香南市産業振興計画」を策定。

III 第1期香南市産業振興計画の成功イメージ

当計画では、香南市の更なる活性化を進めるために、① 第一次産業をはじめとした「地産」を強化し、② 「自立」できる持続可能な産業を創造するとともに、③ 「外貨」獲得に向けた付加価値化に取り組み、『産業の拡大』を図ることが求められている。



分野

これまでの主な取り組み

◇ 基盤整備・防災整備の実施

- 農業生産基盤の充実
 - ・排水機場施設整備、農業水利施設保全合理化事業、農地耕作条件改善事業等
- 防災への対策
 - ・農村地域防災事業、重油流出防止装置付装置燃料タンク設備事業等

◇ 経営改善・担い手の確保につなげる取り組み

- 担い手対策の促進
 - ・担い手育成センター研修支援事業、新規就農推進事業、農業次世代人材投資事業、農業後継者推進事業、実践研修ハウス整備事業等
- 経営の改善への対応
 - ・園芸用ハウス整備事業、経営所得安定対策推進事業、農地中間管理事業、環境制御技術導入普及促進事業、産地パワーアップ事業等
- 農産物のブランド化の推進と加工品の開発
 - ・農山漁村振興交付金事業
- 消費者の安心安全志向への対応
 - ・産地消費推進協議会補助事業、信頼される産地づくり支援事業等



◇ 中山間地域の農業を継続する取り組み

- 農地の保全と活用の促進
 - ・中山間地域等直接支払事業、多面的機能支払事業等
- 有害鳥獣被害の対策
 - ・鳥獣被害対策実施事業、有害鳥獣被害防止事業等



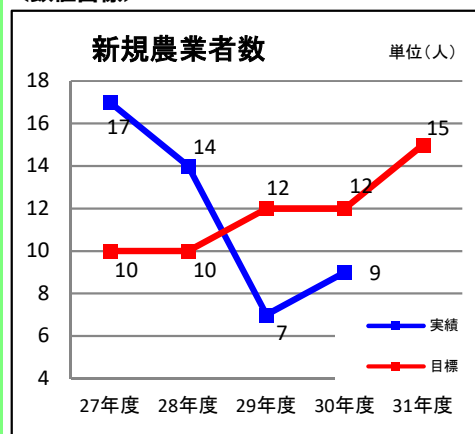
農業分野の「担い手の確保（新規農業者）」については、新規就農者の確保のための就農支援や補助制度は充実していますが、相談の中で今後の予定を立てられていない方も多く、就農まで至らないケースが多いのが現状です。

第2期総合戦略においても、新規就農者が増えるよう、就農支援や補助制度の拡充と就農に向けたイベントに参加し、周知を行っています。

また、平成30年度に整備した実践型研修ハウスの利用が、より就農に近づきよう管理運営に努めています。平成31年3月には、果樹生産者やものべみいなど7機関が連携協定を結び、「未来の地域農業モデル」を官民一体で推進し、担い手育成や山北みかんを使った新たな商品開発、観光産業にも取り組んでいます。

数値目標の推移等

<数値目標>



※平成27・28年度は目標人数を達成できていたため、平成28年度末に目標値の上方修正したが翌29年度以降は、目標達成には至っていない。
5年間の累計人数では、目標59人に対し、現在4年間で47人となっている。



さらなる強化の方向性

○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

数値目標 ①：『新規就農者数の確保』

(累計75人/R6年度末)』

年々増加する耕作放棄地のうち、再生利用可能な耕作放棄地（平均値）の解消に努めていくことで、農産物の出荷量及び出荷額の維持及び向上へとつなげていく。

【戦略の柱①】◇ 担い手確保に向けた取り組み

東京や大阪で行われている移住フェアや農業人フェアへ参加し、香南市で農業を行う魅力を伝え、香南市での就農を促していく。また、様々な補助事業を活用し、経営の不安定な新規就農者の援助を行う。

【戦略の柱②】◇ 経営改善・農地維持への取り組み

第1期で行ってきた農地の保全と活用推進については、多面的機能支払事業や中山間地域等直接支払事業を活用する団体に推進を図っていく。
新たに人・農地プランの実質化を推進し、農地所有者、耕作者に、将来の経営意思、経営方法、後継者の有無などを調査し、その結果を基に地域で協議していく。
そのことにより将来にわたって地域の農地を誰が担っていくのか、誰に農地を集積・集約化していくのかを地域の話合いで決め、地域の将来像を作り耕作放棄地の削減等に繋げていく。

【戦略の柱③】◇ 基盤整備・防災への取り組み

農地耕作条件改善事業を活用して基盤整備を行い、安定した農業経営が行えるようにすすめて行く。また、重油流出防止付燃料タンク整備事業を活用し、来る南海トラフ地震でも災害が拡大しないよう対策をすすめていく。

農業分野

林業分野

◇ 基盤整備の実施

- 林業の振興
 - ・林道道路側溝整備事業等



◇ 森林資源保全の実施

- 林業の振興
 - ・緊急間伐総合支援事業、森林整備地域活動支援事業、水源の森整備事業、林地台帳整備事業、森林整備推進事業等

◇ 木質バイオマスの活用

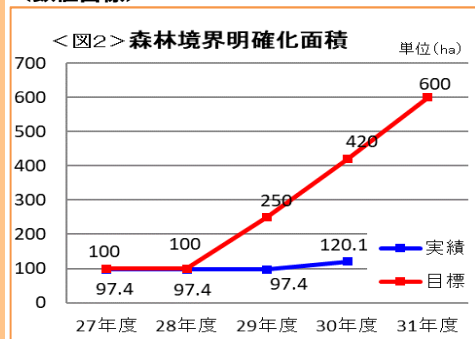
- 林業の振興… 森林の活用事業等

林業分野の「森林境界明確化事業（団地化及び境界明確化）」については、事業主体の香美森林組合や高知県等関係機関との連絡調整において事業未実施の年度が続いていましたが、平成30年度から事業を再開できました。

間伐事業を実施することで、植物の生態系の保全や災害の防止にもつながるので、引き続き、間伐事業に取り組むとともに、林業従事者の所得向上が図られるようにしていきたい。

また、令和元年度から譲与される森林環境税（環境譲与税）の活用を検討していきます。

<数値目標>



○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

数値目標 ①：『間伐面積（累計250ha/R6年度末）』

間伐を実施することにより森林の持つ「水源かん養機能」、「減災機能」、「生態系保全機能」の維持・増進に繋げる。
数値目標は事業体が事業主体である緊急間伐総合支援事業と市が事業主体である森林管理制度間伐委託事業の間伐実施面積の合計値とし、事業体が年間で実施できると見込まれる事業量より設定。

【戦略の柱①】◇ 森林環境保全に向けた取り組み

補助事業や森林環境譲与税を活用し、間伐（保育・搬出）、森林境界明確化、意向調査の実施する。

【戦略の柱②】◇ 啓発・普及への取り組み

市内の小中学校と連携し、授業や行事に森林体験学習を取り入れる。木育イベントを開催し、子どもたちに山や木に親しむ機会を提供する。

分野

これまでの主な取り組み

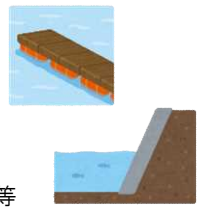
各種生産額の推移等

さらなる強化の方向性

水産業分野

◇ 改修整備の実施

- 水産業の振興
 - ・水産機能施設の整備、漁港施設の整備改修事業等



◇ 経営基盤強化の実施

- 水産業の振興
 - ・新規漁業就農者の確保、漁場の保全事業、漁業者の所得向上にむけた事業、観光漁業の促進等

◇ 生産・加工・流通・販売に向けた取り組み

- 水産業の振興…水産加工品流通販売事業等

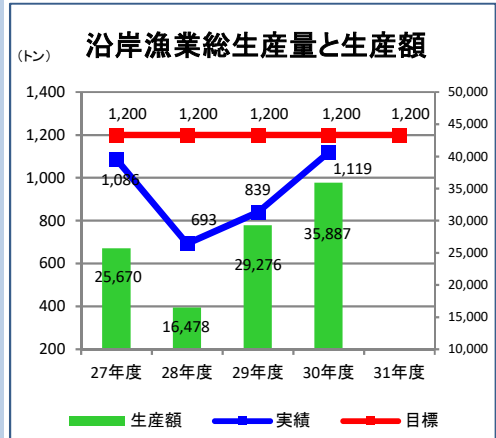


水産業分野の「沿岸漁業総生産量」については、平成28年度が693トと例年になく不漁であったが翌年度からは総生産量は上昇し、平成30年度には目標値（1,200ト）に大きく近づいています。

また、加工・流通・販売体制の強化に取り組んだ成果もあり、総生産量と合わせて生産額（漁業所得）も大きく上昇しており、所得の向上は図れています。

漁港施設の改修も順調に行っています。また、水産加工品の流通販売として手結加工場の販売額は大きく売り上げを伸ばしており、今後も加工・流通・販売体制を強化していきたい。

<数値目標>



※平成29年度までは県漁協3支所の水揚げデータを実績としていたが、平成30年度からは市内民間企業の生産量を追加。県漁協3支所のみは平成30年度は1,058ト。



○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

数値目標①：『沿岸漁業総生産額 (累計1,450百万円/R6年度末)』

平成24年度から平成30年度までの沿岸漁業総生産量のうち、最大値・最小値を除いた平均値を算出し、伸び率10%（浜の活力再生プラン10%以上向上を引用）を考慮し算出。主要魚種について「①平均単価」「②1経営体当たり平均生産額」「③漁業で生活できる生産額（聞き取り）」等も検討した結果、3億程度の生産額となった。ブランド化による魚価の向上を目指し、生産額の向上を図る。

【戦略の柱①】◇ 地産の強化に向けた取り組み

生産に関する施設整備、漁業者の生産性の向上に向けた取り組みを行い、地産の強化へつなげることで、効率的な生産体制の構築による漁業生産の維持へとつなげていく。

【戦略の柱②】◇ 流通・販売の強化に向けた取り組み

他分野との連携による市内水産物の地域からの発信、香南市ブランドの確立による認知度向上を進めていくことで、魅力ある水産業、若者が住んで稼げる元気な漁村を目指す。

【戦略の柱③】◇ 担い手の確保に向けた取り組み

担い手の育成、確保に繋がる取組等を行い、今後も持続可能な水産業を目指す。

商業分野

◇ 商業支援

- 既存企業の育成・支援
 - ・香南市緊急融資保証料補給金事業、魅力ある商業地
 - ・商店街づくり事業
 - ・空き店舗等の活用事業
 - ・創業支援事業、創業支援利子補給金交付事業等



【商工業分野として】

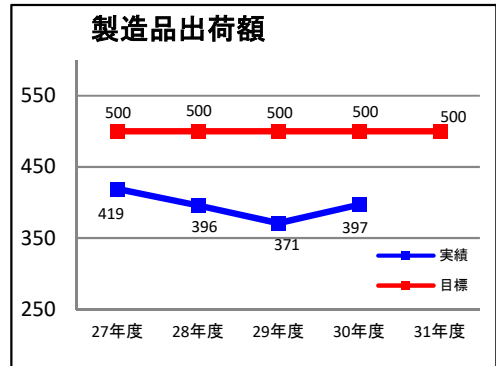
商工業分野の「製造品出荷額」は、基準年（平成26年度）が407億円（工業統計調査）であり、目標を500億円と設定していましたが、翌年度の平成27年度から減少となり、目標値の達成は困難となっています。

減少の理由として、香我美町のルネサスエレクトロニクス（株）の撤退に伴う製造品の出荷の減少が大きく影響していると思われます。

しかし、平成30年度には香南工業団地への企業誘致（5区画）も完了し、今後は目標値を達成するよう、誘致企業と既存企業の生産性向上につながる育成支援および川谷工業団地への企業誘致に一層取り組んでいきます。

また、平成30年度には企業に関するさまざまな知見やネットワークを有するイシン（株）と包括協定を締結することができ、今後は連携の強化と事務系企業の誘致に積極的に取り組んでいきます。

<数値目標>



※第1期では、商業・工業分野を1つの分野（商工業分野）と捉え、数値目標は同じとなっている。

第2期では、両分野をさび分け、各々の数値目標を設定していく。



○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

数値目標①：『事業者数の維持 (817事業者/R6年度末)』

増加している空き店舗のさらなる利活用や創業支援等により新たな事業者を生み出していくとともに、既存事業者への支援や後継者育成、事業承継の取り組みを進めることで、地域商業機能の維持を図る。

数値目標②：『事務系企業の誘致 (累計10企業/R6年度末)』

イシン（株）と連携し、求職者の多くが求めている情報サービス等の事務系職種の企業を誘致することで、雇用の場を創出するとともに、空き店舗等をオフィスとして活用することで、新しい経済循環が生まれ、商店街活性化に繋げる。

【戦略の柱①】◇ 空き店舗の活用に向けた取り組み

市内の空き店舗が減少し、地域商業のにぎわいを創出させることで、市民の多様なニーズにこたえられるようにしていく。

【戦略の柱②】◇ 担い手の確保に向けた取り組み

移住者による創業促進や後継者の育成、事業承継の推進により事業者数の維持を図る。

【戦略の柱③】◇ 商業支援の取り組み

既存事業者が持続的に発展できるように支援を実施する。

分野

これまでの主な取り組み

各種生産額の推移等

さらなる強化の方向性

工業分野

◇ ものづくりの基盤整備の実施

- 企業誘致の促進
 - ・香南工業団地整備事業
 - ・香南工業団地企業立地促進事業
 - ・企業立地優遇制度事業 等



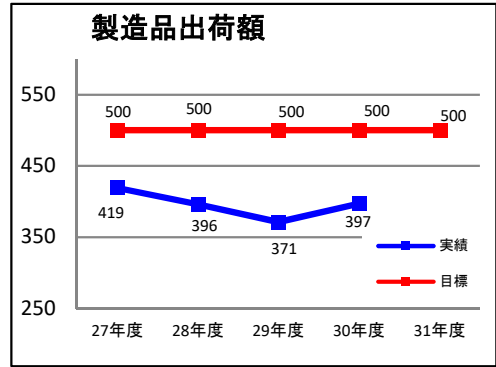
◇ ものづくりへの支援

- 既存企業の育成・支援
 - ・香南市香我美町企業立地交流会の開催、香南市ものづくり会の開催
 - ・香南市産業人材育成事業、香南市未来人材育成奨学金返還助成事業
 - ・中小企業者の生産性向上支援事業 等

【商工業分野として】

商工業分野の「製造品出荷額」は、基準年（平成26年度）が407億円（工業統計調査）であり、目標を500億円と設定していましたが、翌年度の平成27年度から減少となり、目標値の達成は困難となっています。
 減少の理由として、香我美町のルネサスエレクトロニクス（株）の撤退に伴う製造品の出荷の減少が大きく影響していると思われます。
 しかし、平成30年度には香南工業団地への企業誘致（5区画）も完了し、今後は目標値を達成するよう、誘致企業と既存企業の生産性向上につながる育成支援および川谷工業団地への企業誘致に一層取り組んでいきます。
 また、平成30年度には企業に関するさまざまな知見やネットワークを有するイシン（株）と包括協定を締結することができ、今後は連携の強化と事務系企業の誘致に積極的に取り組んでいきます。

<数値目標>



※第1期では、商業・工業分野を1つの分野（商工業分野）と捉え、数値目標は同じとなっている。
 第2期では、両分野をさび分け、各々の数値目標を設定していく。



○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

数値目標①：『製造品出荷額（累計1,800億円/R6年度末）』

令和2年度以降の既存企業及び新規立地予定企業の事業計画と企業誘致支援制度の見直しにより増加が見込まれる製造品出荷額を算出。
 新たな企業立地と生産性の向上により、製造品出荷額の増加を図る

数値目標②：『新規雇用者数（累計63人/R6年度末）』

既存企業及び新規立地予定企業の事業計画による予定雇用者の半数以上を地元雇用とし、地元雇用者数の70%程度を見込んだもの。
 新たな企業立地と既存企業の工場増設等により、雇用の拡大と地域の賑わい創出を図る。

【戦略の柱①】◇ ものづくりの基盤整備の取り組み

ものづくり企業の強化に繋げるための企業立地を進め、雇用の創出、生産性の向上、税収の確保へとつなげることで、拡大再生産による雇用の拡大と地域の賑わい創出へとつなげていく。

【戦略の柱②】◇ 既存企業への育成・支援に向けた取り組み

市内企業を元気にする取り組みや人材の育成、確保に繋がる取組を行い、香南市ブランドの構築を進め、ものづくり企業が輝き躍動する香南市へとつなげていく。

観光分野

◇ 核となる観光拠点化の形成を進める

- 企業誘致の促進
 - ・三宝山エリア観光拠点化事業、ヤ・シィパーク周辺地域の活性化事業 等
- 観光の振興
 - ・歴史を中心とした博覧会事業、加工施設間の連携、歌舞伎で町おこし事業
 - ・道の事業、物部川エリア広域観光連携事業、市民と地域資源を総力したビジネス支援事業、地域まるごと旅行商品の開発販売及びブランドオペレーター機能構築事業 等



◇ 人材の育成に向けた取り組み

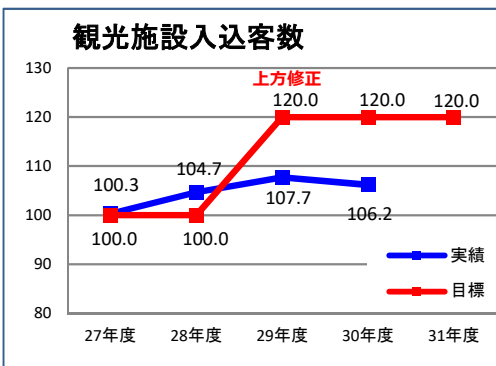
- おもてなしの向上
 - ・まちの案内人会事業

◇ 国際観光の推進

- 外国人観光客の受入体制づくり
 - ・外国人観光客受け入れ研修の開催 等

観光分野の「観光施設入込客数」については、既存のイベントと合わせて、天候に影響されない集客確保のイベントの取り組み強化を図り、新規顧客の開拓やリピーターの増加を目指すことと、Instagramの活用など情報発信の仕組み作りの構築に向けた協議も行っていきます。
 また、平成30年度には観光拠点の磨き上げとして、ヤ・シィパークグランドデザインの策定とグランピングの整備を行いました。
 今後は、それらを活かした施設や同線等の再整備、イベント等を企画し、ヤ・シィパークを中心に周辺地域などを周遊できる仕組みづくりに取り組んでいきます。

<数値目標>



※平成27・28年度は目標を達成しており、「志国高知 幕末維新博（H29.3.4開催）」にあわせ、平成29年2月に100万人から上方修正を行っている。
 修正後は、目標達成には至ってなく、平成30年度においては、悪天候や豪雨災害等もあり、繁忙期の集客が減少したことから、昨年度実績を下回っている。

○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

数値目標①：『観光施設入込客数（累計600万人/R6年度末）』

観光施設入込客数（交流人口）の獲得より、観光施設及び観光関連施設のさらなる活性化に繋げていく。

【戦略の柱①】◇ 香南市の観光発信に向けた取り組み

香南市の情報発信を各媒体を活用し発信することで、香南市に来るきっかけづくりを行う。

【戦略の柱②】◇ 観光の育成に向けた取り組み

香南市の観光拠点の整備を進め、物部川流域3市との連携を図ることで、数値目標である観光施設入込客数へとつなげていく。

【戦略の柱③】◇ 受け入れ態勢の強化に向けた取り組み

おもてなしの向上や外国人が訪れやすい環境の整備を図り、数値目標である観光施設入込客数へとつなげていく。

分野 | これまでの主な取り組み | 各種生産額の推移等 | さらなる強化の方向性

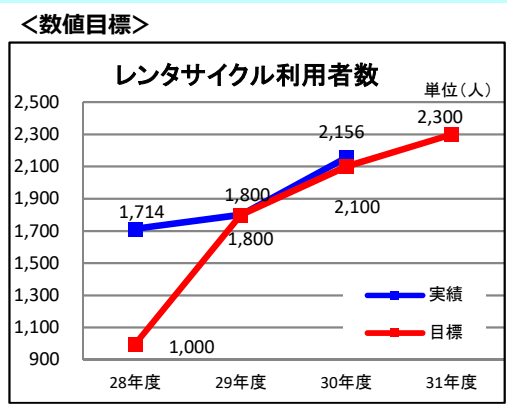
サイクリング ※非分野

- ◇ 自転車を活用した観光への取り組み
 - サイクリング事業
 - ・ イベント開催事業、PR事業、レンタサイクル利用促進事業
 - ・ サイクルオアシスの推進事業等
- ◇ 障がいのある方や高齢者へのスポーツの推進事業
 - サイクリング事業 … タンDEM自転車利用促進事業
- ◇ 健康増進と環境に配慮した取り組み
 - サイクリング事業
 - ・ 健康ポイントを活用した事業、CO2の排出抑制事業
- ◇ 自転車の安全利用を推進する取り組み
 - サイクリング事業 … 交通マナーや交通事故等へのリスクに対する備えの取り組み



自転車を活用した観光への取り組みとして、平成30年度に地域おこし協力隊を雇用し、市内のサイクリストや関係者に声掛けし、サイクリングを推進する団体「M a z e - C l e」を設立しました。両者と連携し健康増進と環境に配慮した取り組みやイベント、サイクルオアシスなどの環境整備といった、市内のサイクリスト「サイクルツーリズム（自転車での観光）」にさらに取り組み、観光の促進と一層の集客を図ります。

各種生産額の推移等



※サイクリング事業は観光分野から派生し、市独自の取り組みとして、平成30年度より数値目標を設定し取り組みを行っている。



さらなる強化の方向性

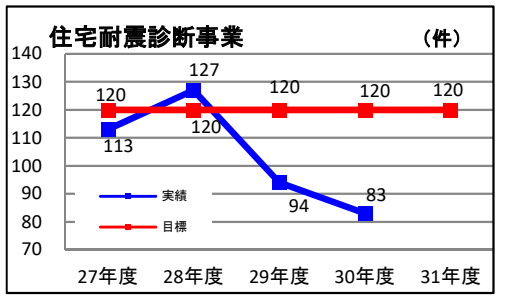
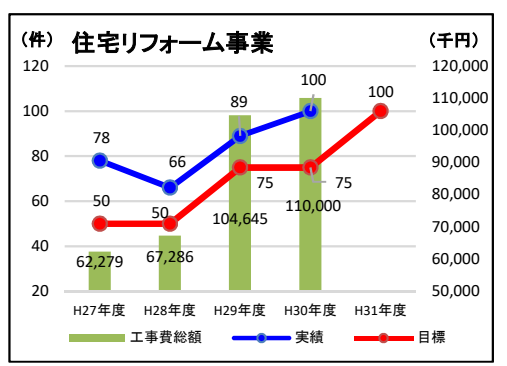
- 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」
- 数値目標①：『サイクリングイベント・大会参加者数（累計4,150人/R6年度末）』
 - イベント・大会による市外からのサイクリスト誘致を進めることで、観光部会施策のサイクルツーリズムへの寄与。またそれによる市内飲食店等の収益増に繋げる。
- 数値目標②：『サイクルサポーター数 累計 30団体/R6年度末』
 - 観光サイクリストの受け入れには地元の理解が必要であることから、「サイクルサポーター」制度を構築し、市民の機運向上へとつなげていく。
- 【戦略の柱①】 ◇ 観光（サイクリスト誘致）
 - イベント・大会開催やPRを通じて「市外からのサイクリストが来なくなるまち香南市」として確立させるまた、実際に訪れてもらい、宿泊や飲食等で外貨を取得する。
- 【戦略の柱②】 ◇ 健康（市民向け）
 - 市民へ向けた自転車への理解や機運を高め、市全体で自転車に対する取り組みを推進していく。この取り組みを通じてサイクルサポーターとして市民参加型でサイクリストを迎える素地づくりを行う。
- 【戦略の柱③】 ◇ サイクリストのための環境整備（ハード）
 - 自転車にとって安全で走りやすくなる整備を行い、市内外に「サイクリストにやさしいまち」として定着を目指す。これをもって数値目標を達成しやすくさせる。

住宅分野

- ◇ 住環境の整備
 - 住環境の整備事業
 - ・ 住宅リフォーム制度の促進
- ◇ 市営住宅の整備
 - 市営住宅の整備事業
 - ・ 浄化槽等設置工事事業
- ◇ 住宅の耐震化
 - 住宅の耐震化事業
 - ・ 住宅耐震診断事業、住宅耐震改修費補助事業、コンクリートブロック塀耐震対策事業
- ◇ 空き家対策
 - 空き家対策事業
 - ・ 老朽住宅等除却事業、移住定住促進空き家活用事業、空き家バンク事業、空き家改修事業費補助事業等



住宅分野では、住環境の整備として、市内に所有し居住する個人住宅を対象に、リフォームに対する支援を行ってまいりました。制度活用の需要は多く、地域経済の活性化及び生活環境の向上は図れており、引き続き、制度の周知に努めていきます。また、住宅の耐震化事業にも取り組んでおり、木造住宅耐震診断や耐震改修費への補助金も整備しているが、利用は目標まで至ってはいません。各地で震災等が発生した際には問い合わせも多くなる傾向があることから、震災前の対策として取り組んでいただけたよう周知していく必要がある。空き家対策として、空き家バンクの登録や老朽住宅等除却事業を実施しており、目標を上回る実績となっています。老朽化した空き家は災害時の避難や延焼など多くの影響が想定されることから、引き続き、事業の周知と空き家の利活用を含めた移住施策と連携を図っていきます。



※住宅分野の取り組みから一部抜粋

○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

- 数値目標① 『 - 』 ※ 協議中
- 住環境のリフォーム整備を進め、生活環境の向上を図ることで、社会減（転出）抑制に努める。
- 住環境の耐震化を図り、安心安全なまちづくりへとつなげる。
- 移住施策や防災計画、産業の担い手確保の考え等を反映させる宅地整備に取り組み、新たな「人」の流れをつくる。
- 【戦略の柱①】 ◇ 住環境の整備を支援する取り組み
 - 住環境の整備を進め、生活環境の向上を図ることで、社会減（転出）抑制につなげる。
- 【戦略の柱②】 ◇ 空き家対策に向けた取り組み
 - 老朽化した空き家の除却を図り、市民が安全に、かつ、安心して暮らせることのできる生活環境を確保する。また、この取り組みを進めることで、社会減（転出）の抑制につなげる。利用可能な空き家は、ニーズに合わせてリフォーム等を行うことで再生し、活用する方法もあることから、移住施策とリンクさせる取り組みを進めていき、社会増（転入）につなげる

これまでの取り組みから見えた課題



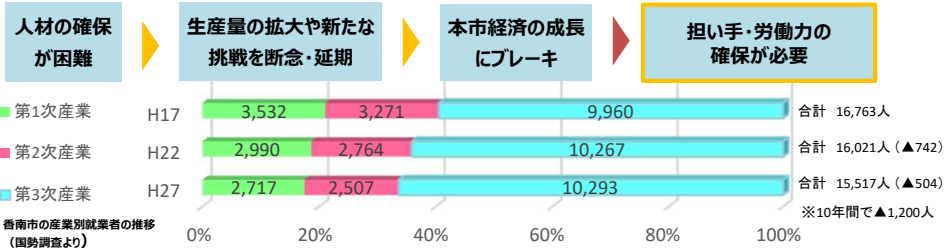
第1期香南市産業振興計画では、PDCAサイクルによる見直しや検証を行い、毎年度バージョンアップを図り、香南市が目指す「将来像」の実現に向け、取り組みを進められてきた。しかしながら、多くの分野では、掲げてきた「数値目標」の達成に届いていない状況であり、「目指す将来像」の実現には、さらなる努力が必要な状況。

課題① 目指す「将来像」の実現に向けた取り組みの見直しの必要性

分野	各分野の「数値目標」	第1期 目標値(累計)※1	第1期 実績値(達成率)※2
農業	新規就農者数 (人)	44人	47人(106.8%)
林業	林業境界明確化面 (ha)	420ha	120.11ha(28.6%)
水産業	沿岸漁業総生産量 (t)	4,800 t	3,737 t(77.9%)
商工業	製造品出荷額 (億円)	2,000億円以上	1,583億円(79.2%)
観光	観光施設入込客数(万人)	440万人以上	418.9万人(95.2%)
住宅	-	-	-

(現状及び課題) ※1・2はH27~H30の4年間を対象としている。
 ■ 第1期香南市産業振興計画では、目標値を達成した分野は1つであった。(H27~H30年度の4年間を対象)
 ■ 本計画策定当初に設定した「数値目標」を達成するために、各事業に取り組んでいるが、その事業が、直接的に「数値目標」に反映されていない傾向がある。

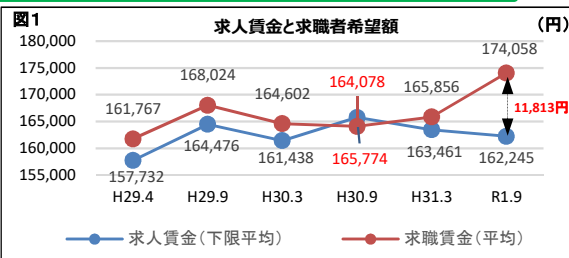
課題② 高齢化や若者の流出に伴う「生産力」の低下



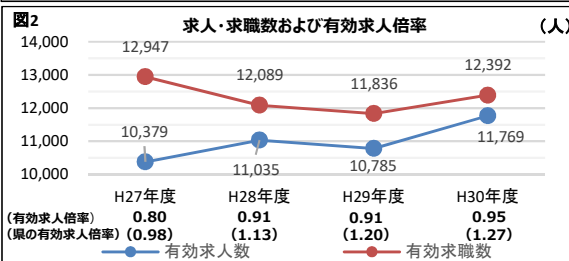
課題③ 魅力ある産業化の必要性

(現状及び課題)

■ 直近の求人賃金(企業等の提示額)と求職賃金(求職者が求める額)を比較するとH30.9に求職賃金が求人賃金を上回ったが、その後は下回り、R1.9時点では11,813円の差が生まれている。当計画を前進させ、魅力ある求人賃金へとつなげていく必要がある。(図1)



■ 直近4か年の有効求人倍率は0.80から0.95と上昇傾向にあるが、香南市圏内の有効求人倍率は1.0を下回っている。今後、市内の総人口及び生産年齢人口が減少していく中で、いかに人材確保へとつなげていか、また、担い手に代わる施策へと転化させていくかについて、当計画を前進させながら検討していく必要がある。(図2)



(図1・2はハローワーク香美所管内データより)

目指す将来像の実現に向けた取り組みの方向性
 - 第2期香南市産業振興計画の改定のポイント -

目指す将来像

- ◇ 地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市
- ◇ 次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市

改定のポイント 1

各分野の『既存の取り組み』をさらに強化!

他分野同士の連携強化!

- 香南市のさらなる活性化を進めるために、これまで取り組んできた『第一次産業をはじめとした「地産」を強化』『「自立」できる持続可能な産業を創造』『「外貨」獲得に向けた付加価値化に取り組み』をさらに強化し、『産業の拡大』を図る。
- 既存の取り組みに加え、他分野同士の連携や情報の共有をさらに強化し、『共通の課題』に対する解決策の検討や同じ方向性の事業にスピードをもって対応していく。
- これにより、香南市内に点在している様々な取り組みを線で結び、面として、一体となり、香南市の産業振興につなげる。

改定のポイント 2

「継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み」を拡大!

- 新たな付加価値の創造こそが経済成長の源泉です。本市経済の拡大傾向を先々にわたって確かなものとしていくためには、『継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み』が重要となる。(次頁参照)
- 5年後、10年後を見据え、各産業分野における「付加価値の創造を促す仕組み」を、より多く、より質高く創り出していきます。

ポイント1、2により「既存の取り組み」のバージョンアップを図る!

他分野同士の連携を強化し「新たな付加価値の創出」が生まれることで、既存の取り組みが前進し、さらなる連携へとつながることにより、「新たな付加価値の創出」を促す。

他分野同士の連携等を強化!

連携による新たな付加価値の創出

既存の取り組みが前進!

バージョンアップ!



改定のポイント 3

担い手の確保・人材育成策のさらなる強化!

- 先々にわたる本市経済の発展の礎を築くためにも、各分野での担い手確保と人材育成が必要不可欠。人口減少がある中でも、深刻化する人手不足・後継者不足に速やかに対処していく。
- 各分野と連携した「担い手確保策」や新規学卒者獲得に向けた「市内就職の促進」等をさらに強化。
- 担い手に代わる先進技術の導入等に向けたサポートの実施も視野に取り組みを強化。

改定のポイント 4

各産業の魅力化に向けた取り組みをさらに強化!

- 各分野の所得向上に向けた取り組みの強化。
- 各分野の魅力の発信を強化。
- 新たな産業・企業等の誘致に向けた取り組みを強化。

ポイント1、2により生み出された『仕事』と、ポイント3、4により生み出された『人材・新卒者等』とをより確実につなげていく!

『仕事』 × 『担い手・新卒者等』



次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市

5-2 第2期香南市産業振興計画の策定に向けて（基本的な考え方）

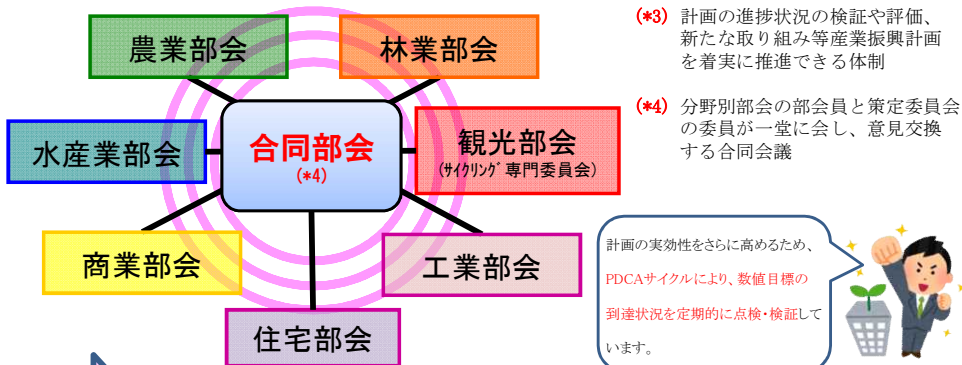
改定のポイント 1

各分野の『既存の取り組み』をさらに強化！

他分野同士の連携強化！

- 香南市で、計画の実効性をさらに高めるため、PDCAサイクルによる数値目標の到達状況の点検・検証等に引き続き取り組むことに加え、他分野同士の連携や情報の共有をさらに強化し、スピードをもって取り組むことで、香南市に点在している様々な産業の取り組みを「線」で結び、各産業が一体となって『香南市の産業振興』に繋げていく。

香南市産業振興計画推進分野別部会（*3）の連携強化



（*3）計画の進捗状況の検証や評価、新たな取り組み等産業振興計画を着実に推進できる体制

（*4）分野別部会の部会員と策定委員会の委員が一堂に会し、意見交換する合同会議

計画の実効性をさらに高めるため、PDCAサイクルにより、数値目標の到達状況を定期的に点検・検証しています。



UP! 双方の取り組みにより分野ごとの取り組みを前進！



改定のポイント 2

『継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み』を拡大！

- 本市経済の拡大傾向を先々にわたって確かなものとしていくためには、「継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み」が重要。
- 5年後、10年後を見据え、各産業分野における「付加価値の創造を促す仕組み」を、より多く、より質高く創り出していきます。

継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み（例）

量的な拡大

- ☆ ハード設備の充実に向けた取組
- ☆ ソフト機能の充実に向けた取組
- ☆ 他分野・産業との連携に向けたサポート体制の充実
- ☆ 市外からの企業誘致の実現に向けた支援策の充実
- ☆ 小さな取り組みの吸い上げを強化 等



質的な拡大

- ☆ 新技術導入の促進
- ☆ 新規事業への積極的支援
- ☆ 付加価値化に向けた事業の支援
- ☆ 体験などを発信する機会の強化 等
- ☆ 外商等の促進（外貨獲得等）



改定のポイント 3

担い手の確保・人材育成策のさらなる強化！

- 先々にわたる本市経済の発展の礎を築くためにも、各分野での担い手確保と人材育成が必要不可欠。人口減少がある中でも、深刻化する人手不足・後継者不足に速やかに対処していく。
- 各分野と連携した「担い手確保策」や新規学卒者獲得に向けた「市内就職の促進」等をさらに強化。
- 担い手に代わる先進技術の導入等に向けたサポートの実施も視野に取り組みを強化。

各分野の取り組みを強化

- 【農業】 担い手育成センター研修支援事業・担い手支援事業・農業後継者推進事業 等
- 【水産業】 高知県漁業就業支援センターとの連携 等
- 【商業】 空き店舗対策事業費補助金による起業支援 等
- 【工業】 優遇制度による企業誘致を進めることによる働く場の創出 等
- 【観光】 観光者を観光産業の「担い手」と捉え、その誘客に向けた取り組み・外国人観光客の受入体制づくり 等
- 【住宅】 香南市で働くための生活の場（暮らす場所）の創出及び充実 等



改定のポイント 4

各産業の魅力化に向けた取り組みをさらに強化！

- 各分野の所得向上に向けた取り組みの強化。
- 各分野の魅力の発信を強化。
- 新たな産業・企業の誘致等に向けた取り組みを強化。

各分野の取り組みの強化

- 【農業】 園芸用ハウス整備事業・経営所得安定対策推進事業・環境制御技術導入普及推進事業 等
- 【林業】 高性能林業機械の導入支援 等
- 【水産業】 水産加工品の給食センターへの搬入・流通経路への推進 等
- 【商業】 空き店舗対策事業費補助金による起業支援 等【再掲】
- 【工業】 産業人育成支援事業・中小企業者の生産性向上支援事業 等
- 【観光】 ヤ・シパークを核とした地域活性化推進・地域と連携した高知県産ワインのブランド化の推進 等



ポイント 1、2 により生み出された『仕事』と、ポイント 3、4 により生み出された『人材・新卒者等』とをより確実につなげていく！！



目指す将来像

- ◇ 地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市
- ◇ 次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市

目指す将来像の実現！

戦略

より力強い「産業の拡大」を図るため、分野を超えた連携の強化、新たな付加価値化の創出、担い手の確保、人材育成策を推進することで、所得の向上につなげ、魅力ある産業化に向けた取り組みを進める。

計画全体を貫く目標 ①

- 1次産業の安定生産の体制づくり、生産量を増やし、市の総生産額を上げる。
地場生産品の安定 → 市内の経済活動の活性化

(今後5年の見通し)

- 担い手の確保・人材育成策による「人材」の確保。
- 魅力ある産地化に向けた取り組みを強化し、各産業の所得向上に繋げる。
- 各産業における魅力の発信を強化。

- 魅力ある第一次産業を作り上げていくことで、担い手の確保と産業の拡大を図り、地場産業の安定に繋げる。
- 魅力ある産地化を進め、発信することで担い手の確保に繋げていく。

計画全体を貫く目標 ②

- バランスのとれた産業構造として、就業人口、従業人口が整い、住と職がバランスよく、住みながら働く場・雇用の確保ができる

(今後5年の見通し)

- 企業誘致などの取り組みによる「働く場」づくりの創出。
- 有効求人倍率の上昇。
- 各産業の取り組みにより生産額が増加。
- ものづくりの地産地消の徹底により、市外へのお金の流出を食い止める。

- 産業振興計画による魅力ある雇用の場を創出していくことで、雇用の場が増え、香南市で育った若者が市内で働くことができる状況を目指す。
- さらに、市外からの受入も可能にすることで、人口社会増に繋げていく。

引き続き、計画の実効性をさらに高めるため、PDCAサイクルにより、数値目標の到達状況を定期的に点検・検証を行います。



◎ 地域住民が元気に働ける、バランスのとれた持続可能な産業構造の構築
◎ 学びの段階から事業化までの多様なサポートにより、実践者のチャレンジを応援する

各分野の戦略の柱

分野を代表する目標

5年後 (R6年度末)

直近値 H27~30年度実績

産業振興計画開始時目標 (H27)

農業分野	林業分野	水産業分野	商業分野	工業分野	観光分野	サイクリング専門委員会	住宅分野
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 担い手確保に向けた取り組み ◆ 経営改善・農地維持への取り組み ◆ 基盤整備・防災への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 森林環境の保全に向けた取り組み ◆ 啓発・普及への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地産の強化に向けた取り組み ◆ 流通・販売の強化に向けた取り組み ◆ 担い手の確保に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 空き店舗の活用に向けた取り組み ◆ 担い手確保に向けた取り組み ◆ 商業支援の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ものづくりの基盤整備に向けた取り組み ◆ 既存企業への育成・支援に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 香南市の観光発信に向けた取り組み ◆ 観光の育成に向けた取り組み ◆ 受け入れ態勢の強化に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境の整備に向けた取り組み ◆ 市民を対象とした健康づくりに向けた取り組み ◆ サイクリングを中心とした観光に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住環境の整備を支援する取り組み ◆ 空き家対策に向けた取り組み
<p>新規就農者数 (※1)</p> <p>75人 (累計)</p>	<p>間伐面積 (※2)</p> <p>250a (累計)</p>	<p>沿岸漁業総生産額 (※3)</p> <p>1,450百万円 (累計)</p>	<p>事業者数 (※4)</p> <p>817 事業者</p> <p>事務系企業の誘致数 (NEW)</p> <p>10企業 (累計)</p>	<p>製造品出荷額 (NEW)</p> <p>1,800億円 (累計)</p> <p>新規雇用者数 (NEW)</p> <p>63人 (累計)</p>	<p>観光施設入込客数 (※5)</p> <p>600万人 (累計)</p>	<p>サイクリングイベント等参加者数 (※6)</p> <p>4,150人 (累計)</p> <p>サイクルサポーター数 (※7)</p> <p>30団体 (累計)</p>	<p>(協議中)</p>
47人	120.11ha	-	-	1,853億円	418.9万人	206人	-
10人/年	100ha/年	-	-	500億円/年	100万人/年	-	-

※1 高知県中央東農業振興センターが毎年11月に公表する前年度の新規就農者数
 ※2 緊急間伐総合支援事業と森林管理制度間伐委託業務の総合計
 ※3 高知県漁協(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額合計
 ※4 日本標準産業分類(大分類)のF~O・Q・Rに分類される事業者(香南市商工会のデータによる)

※5 対象施設(10施設)：① 県立のいち動物公園 ② 月見山こどもの森 ③ ヤシィパーク ④ 絵金蔵 ⑤ 天然色市場 ⑥ やすらぎ市 ⑦ あぐりのだと ⑧ 黒潮温泉 ⑨ 創造広場「アクトランド」 ⑩ 土佐カントリークラブ
 ※6 大会の参加者数：① 三宝山ヒルクライム(市) ② ツールド・トレイン(香南市観光協会) ③ ボタリング(NPO法人 高知Cycling Project Maze-Cle ④ ヤシィシクロクロスカップ(高知県シクロクロス実行委員会)
 ※7 サイクルサポーター：香南市の自転車利用促進の考えに参画し、活動する事業所・団体(事業所も団体としてカウント表記)

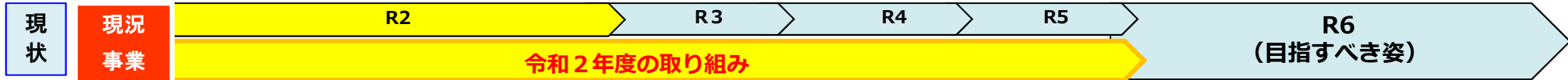


香南市産業振興計画 分野別部会の取組について (令和2年度版)

・ 農業分野	7-1
・ 林業分野	7-2
・ 水産業分野	7-3
・ 商業分野	7-4
・ 工業分野	7-5
・ 観光分野	7-6
・ サイクリング分野	7-7
・ 住宅分野	7-8

数値目標（単位）	基準値 (R元年度 策定時)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
① 新規就農者数（人/年）	9人 / 年	15人 / 年	15人 / 年	15人 / 年	15人 / 年	15人 / 年	75人（5年間累計）

（備考） 高知県中央東農業振興センターが毎年11月に公表する前年度の新規就農者数



(R2年度) 「新規就農者数 15人の獲得」

へへの取組

基盤整備・防災

担い手確保に向けた取組


経営改善・農地維持に向けた取組

○ 農業生産基盤の充実に向けた取り組み

- 耕作条件改善事業（曾我堰改修工事・農道水路施工、東佐古地区水路改修工事）
- 重油流出防止付燃料タンク整備事業（重油タンク転倒時の流出防止付き燃料タンクの整備）

○ 担い手確保に向けた取り組み

- 農業次世代人材投資事業（準備型）（新規就農者の確保及び育成を図る）
- 農の雇用事業（雇用就農者の確保及び育成を図る）
- 担い手育成支援事業
 - 専業農育区分（新規就農者の確保及び育成を図る）
 - 後継者育成支援区分（農業後継者の確保及び育成を図る）
 - 親元経営発展区分（親元へのIターン就農者の確保及び育成を図る）
 - 研修受入機関支援区分（農業後継者の研修受入機関への支援を図る）
- 農業次世代人材投資事業（開始型）（新規就農者の初期費用の負担の軽減を図る）
- 農業後継者推進事業（農業後継者の確保及び育成を図る）



【基盤整備・防災への取り組み】

安心して経営しやすい農業施設の整備を進める。

【担い手確保に向けた取り組み】

各イベントで就農PR
↓
就農準備段階でのサポート
↓
就農後のサポート(実践型研修ハウスの活用)
↓
地域で暮らし、稼げる農業の確立

【経営改善・農地維持に向けた取り組み】

人・農地プランの実質化
↓
耕作放棄地の減少・新規就農者の農地確保地域がまとまり、**地域で農地を守っていく**

(R6年度末) 新規就農者数 累計 75人の達成へ!

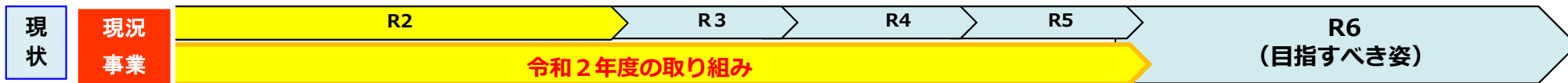
13

★ R2年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】
 ・農業次世代人材投資事業（バージョンアップ） ・農の雇用事業（バージョンアップ） ・担い手育成支援事業（バージョンアップ） ・人・農地プラン実質化（バージョンアップ）

☆ R2年度 他分野との連携【PICK UP!】
 ・みかん×サイクリングなどの取り組みを広げていくことで、農産物の推進とサイクリング事業の強化を図る（サイクリング分野）

数値目標（単位）	基準値 （R元年度 策定時）	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
① 間伐面積(ha)	-	50ha	50ha	50ha	50ha	50ha	250ha（5年間累計）

（備考）間伐面積 = 「緊急間伐総合支援事業」と「森林管理制度間伐委託事業」の合計数



（R2年度）

「間伐面積

50ha

の実施」

森林環境の保全に向けた取り組み

啓発・普及への取り組み

○ 間伐事業の実施

- ・ 緊急間伐総合支援事業
保育・搬出間伐（事業主体・香美森林組合）
- 新・ 森林管理制度間伐委託事業
保育・搬出間伐（事業主体・香南市）



○ 森林境界明確化に向けた取り組み

- ・ 森林整備地域活動支援事
森林境界明確化（事業主体・香美森林組合）
- 新・ 森林管理制度森林境界明確化委託事業
森林境界明確化（事業主体・香南市）

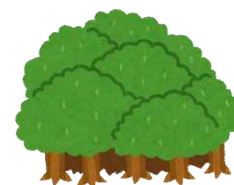


○ 森林の管理

- 新・ 意向調査の実施
森林所有者に、整備されていない森林の管理を市に委ねることについての意向調査を実施（森林環境譲与税を活用）

○ 山や森林に親しむ機会の提供を図る

- 市内の小中学校の授業や行事での森林体験学習の実施
- ・ 図書館等で子どもたちを対象とした木育イベントを開催（森林環境譲与税を活用）



【森林環境保全に向けた取り組み】
意向調査の実施により整備されていない森林の把握、管理体制を整備する。



森林境界明確化を実施し、施業地の団地化に繋げる。



間伐を実施することにより森林の持つ
「水源かん養機能」
「減災機能」
「生態系保全機能」の維持・増進に繋げる。

間伐面積 250ha(5年間累積)

【啓発・普及への取り組み】

香南市内の子どもたちの山や木に対する知識、関心の向上

（R6年度末）

「間伐面積累計

250ha

の実施」の達成へ！

★ R2年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】

- ・ 森林管理制度間伐委託事業（新規）
- ・ 森林管理制度森林境界明確化委託事業

☆ R2年度 他分野との連携【PICK UP!】

- ・ 香南市内の小中学校等と連携した木育事業の展開

数値目標 (単位)	基準値 (R元年度 策定時)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
沿岸漁業総生産額(百万円/年)	350百万円/年	280百万円/年	285百万円/年	290百万円/年	295百万円/年	300百万円/年	1,450百万円(5年間累計)

(備考) 次期目標値は過去の実績を踏まえ、伸び率を加算して算出。基準値はH30年度実績値であり、例年にない生産額であったため、次期目標値は基準値を下回っている。
高知県漁協(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額の合計。

現状

現況
事業

R2

R3

R4

R5

R6

(目指すべき姿)

令和2年度の取り組み

地産の強化

○ 生産基盤の充実

- ・水産機能施設の整備 赤岡水産機能施設(上架施設)改修
吉川水産機能施設(荷捌所)補修
- ・漁港施設の整備 水産基盤ストックマネジメント事業(長寿命化)

○ 漁業者の生産性向上

- ・沿岸漁業設備投資促進事業(エンジン等機器取得)による支援
- ・漁船導入支援事業(漁船リース)による支援
R2:1件予定 → R3:1件予定
- ・上記を含め水産業制度資金に対する利子補給制度の制定
- ・漁場の保全 藻場保全 掃海活動 等



流通・販売の強化

○ 市内水産物の認知度向上(ブランド化)

- ・他分野との連携による市内水産物の利活用の検討
→ 水産業関係者と連携可能な事業所とのマッチング等 → 新商品の開発を視野
- ・各種飲食店への市内水産物の利用の促進
→ 地元水産物の利用状況アンケートの実施 → 未使用店舗への利用促進 → 地元からPR
- ・【シラス】魚価向上に繋がる加工業者へのヒアリング実施
結果による対策方法の検討
- ・【シイラ】手結加工事業への支援
R2香南市産業振興計画施設等整備事業費:自動真空包装機導入→R3ライン凍結機器導入に向けての調整



○ 学校給食への納入

- ・市内水産物の給食センターへの納入の促進

○ 内水面漁業の振興

- ・河川環境の保全(関係各課との連携による保全活動への参加)・内水面養殖業支援策の検討



○ 水産業に親しむ場づくり

- ・調理体験等の実施



担い手の確保

○ (一社)高知県漁業就業支援センターとの連携による担い手確保

- ・自営漁業者育成事業
- ・漁家子弟支援事業
- ・雇用型漁業支援事業
- ・各種支援制度の説明会の開催(既存漁業者対象)
- ・漁業希望者へ向けての主要漁業種別の「生活プラン」の作成



【戦略の柱:地産の強化】

- 漁業設備導入支援・生産基盤整備

効率的な生産体制の構築による
漁業生産の維持

【戦略の柱:流通・販売の強化】

- 地元から全国へ発信!
(市内水産物の飲食店での利用)
- 水産加工品出荷額(協議中)
※算出方法 第3回部会で調整
手結加工工場販売額 30,000千円
シラス加工品販売額(調査中)
内水面養殖業販売額(調査中)

例

香南市ブランドの確立による
認知度向上

【沿岸漁業総生産額】
300百万円/R6年度末の達成へ

【戦略の柱:担い手の確保】
持続可能な水産業のため

【担い手の確保】
(5名/5年間累計)(案)

(R6年度末)

沿岸漁業総生産額累計

1,450

百万円の達成へ!

(R2年度)

「沿岸漁業総生産額

280

百万円」

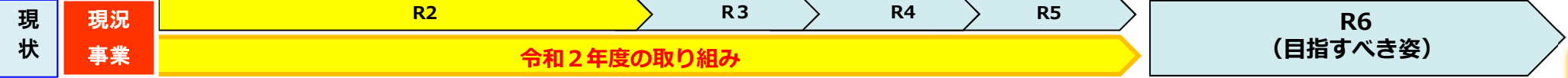
★ R2年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】

- ・利子補給制度の創設(新規) ・担い手確保(バージョンアップ)

☆ R2年度 他分野との連携【PICK UP!】

- ・市内水産物の利活用(商業・観光部会・サイクリング専門委員会) ・担い手の確保(農業・林業部会) 等

数値目標(単位)	基準値 (R元年度 策定時)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
① 商業者数(事業者) ※日本標準産業分類(大分類)の F~O・Q・Rに分類される事業者	813 事業者	813 事業者	814 事業者	815 事業者	816 事業者	817 事業者	817事業者 (R6年度末)
② 事務系企業の誘致(企業)	-	2企業	2企業	2企業	2企業	2企業	10企業(5年間累計)



(令和2年度) 商業者数 813 事業者・事務系企業誘致 2 企業

空き店舗活用に向けた取り組み

○ 空き店舗対策

- 新・商店街等振興計画の策定 … 地域商業を活性化させるための振興計画の策定
- 新・空き店舗実態調査の実施 … 市内全域の空き店舗数等を調査
- 新・空き店舗バンク(仮名)の創設 … 空き店舗情報を一元化し発信する仕組みを構築
- ・空き店舗補助金の継続及び利用促進 … 空き店舗を活用した創業を支援
- 新・チャレンジショップの実施 … 関係機関との連携
- ・空き店舗等を活用した事務系企業の誘致及び新規雇用 … 包括協定を締結したイシン(株)と連携した事務系企業の誘致

担い手の確保に向けた取り組み

○ 担い手の確保・育成

- ・事業承継の推進 … 事業引継ぎ支援センター等関係団体との連携強化
- 新・移住者による創業促進 … 移住政策と連携した移住者向け創業支援
- ・人材の確保 … 未来人材育成奨学金返還助成事業
- ・各種セミナーの開催 … 事業承継や創業等に係るセミナー開催
- ・創業支援事業計画の見直し … 認定期間の終期到来による見直しを実施
- ・創業支援利子補給金の継続 … 創業時の経済的負担を緩和し、創業を促進



商業支援

○ 商業支援

- ・緊急融資保証料補給金の継続
- ・香南カーニバルの継続 … 市内飲食店舗の来店機会創出及びPRにつなげる

【空き店舗の活用】

- ・空き店舗を活用した創業 10件
- ・事務系企業の誘致数 10企業 (累計)

市内の空き店舗が減少し、地域商業のにぎわいを創出させることで、市民の多様なニーズに応えられるまち

【担い手の確保】

- ・創業者数 累計 20人

移住者による創業促進や後継者の育成、事業承継の推進により商業者数を維持しているまち

【商業支援】

既存事業者が持続的に発展できるまち

(R6年度末) 数値目標
① 商業者数 累計 817 事業者
② 事務系企業の誘致 累計 10 企業
の達成へ!

★R2年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】
・商店街等振興計画策定(新規) ・空き店舗実態調査(新規) ・空き店舗バンク(仮)の創設(新規) ・チャレンジショップ事業(新規) ・移住者を対象とした創業支援(新規)
☆R2年度 他分野との連携【PICK UP!】
・市内水産物の利活用(水産業部会)

数値目標（単位）	基準値 （R元年度 策定時）	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
① 製造品出荷額（億円）	397億円	320億円	340億円	360億円	380億円	400億円	1,800億円（5年間累計）
② 新規雇用者数（人）	—	5人	8人	19人	16人	15人	63人（5年間累計）



（R2年度）製造品出荷額等 320億円 ・ 新規雇用者数 5人

企業誘致の促進

○ ものづくりの基盤整備

- 1. 新規工業団地整備事業 **【目標値：候補地選定と適地調査の実施】**
新規工業団地を整備するため、候補地の選定と適地調査を行う
- 2. ルネサス東駐車場用地の分譲 **【目標値：企業誘致1社】**
ルネサス東駐車場用地への企業誘致を行い、雇用の促進と経済の活性化を図る



● 企業誘致支援制度の見直し

- 1. 香南市企業誘致条例の改正 **【目標値：条例の改正】**
立地企業の設備投資に伴う負担を軽減し、雇用の促進と生産性の向上に繋がる支援制度の見直しを行う

既存企業の育成・支援

○ 中小企業の技術向上&経営革新の支援

- 1. 香南市企業交流会 **【目標値：懇談会の開催 年1回（※前年比参加者数の増加）】**
『香我美町立地企業交流会』と『香南市ものづくり会』の合同開催を行い、事業紹介や企業間交流の充実を図る
香南市表彰制度への推薦を行うことで、ものづくり職人の更なる意欲向上を図る
- 2. 企業訪問 **【目標値：企業訪問回数 年20回】**
企業訪問により事業紹介を行うとともに、雇用や経営状況などの課題を把握し、支援策に反映する
- 3. 香南市産業人材育成事業 **【目標値：利用件数 5件】**
企業訪問や懇談会などで事業紹介を行い、利用促進を図る
- 4. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 **【目標値：利用件数 10件】**
企業訪問や懇談会での事業紹介を行うとともに、商工会や県内の学校と連携し利用促進を図る
- 5. 合同企業説明会の開催 **【目標値：合同企業説明会の開催 2回】**
市内施設や城山高等学校で合同企業説明会を開催することで、雇用の促進と若者の地元定住を図る
- 6. 中小企業者の生産性向上支援事業 **【目標値：先端設備導入計画認定件数 30件】**
新規設備の支援を継続し、企業の事業拡大、雇用の創出、地域経済の活性化を目指す
- 7. ものづくり教育推進事業 **【目標値：工場見学及びものづくり体験学習の実施 1回】**
次代を担う小中学生や高校生の工場見学の開催および「ものづくり体験学習」を実施する



【戦略の柱：企業誘致の促進】

- ものづくり企業の強化につながる企業立地
- 雇用の創出・生産性の向上・税収の確保

拡大再生産による雇用の拡大と地域の賑わい創出

【戦略の柱：既存企業の育成・支援】

- 市内企業を元気にする取組を重視（技術向上・製品開発支援）
- 人材の育成・確保・活用支援
- 企業交流の基盤づくり
- 次代を担う世代のものづくり教育の推進

香南ブランドの構築

優れた技術・製品を全国・世界へ！

ものづくり企業が輝き躍動する香南市！



（R6年度末）数値目標

① 製造品出荷額等 累計 1,800億円以上
② 新規雇用者数 累計 63人以上

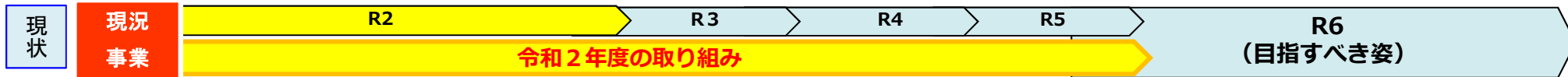
の達成へ！ 17

★ R2年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】

・ 新規工業団地整備事業（新規） ・ 香南市企業誘致条例の改正（新規） ・ ものづくり教育推進事業（新規）

数値目標 (単位)	基準値 (R元年度 策定時)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
観光施設入込客数 (万人)	105.9万人	120万人	120万人	120万人	120万人	120万人	600万人 (5年間累計)

対象施設(市内10施設):1. 県立のいち動物公園 2.月見山こどもの森 3.ヤ・シィパーク 4.絵金蔵 5.天然色市場 6.やすらぎ市 7.あぐりのさと 8.黒潮温泉 9.創造広場「アクトランド」 10土佐カントリークラブ



(R2年度) 「観光施設入込客数 120万人」

香南市観光の発信

○ 情報発信手段の効果的な活用

新 1. SNSを利用した情報発信
観光PR動画の作成やタブレット端末からの閲覧に対応したHP作成などSNSの活用に向けて取り組む。

2. PR活動
日曜市や高知新港への出店などイベントでの観光・特産品PRを行い、認知度向上に繋げる。
(日曜市：年間 15回 / 高知新港：年間 10回 等)

観光の育成に向けた取り組み

○ 核となる観光拠点の形成 高知県産業振興計画 地域アクションプランより

1. 地域と連携した高知県産ワインのブランド化促進事業
2. ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト
3. 三宝山エリア観光拠点化事業

○ 広域観光の推進

新 1. 物部川エリア広域観光連携事業 (一般社団法人物部川IDMO協議会との連携：物部川フェスタ等・DCキャンペーン 等)
2. スポーツツーリズムの推進
サイクリングイベントの開催 (ヒルクライム R3.2月予定) ・サイクリングターミナル外でのレンタサイクル (詳細は次ページ)
3. 観光施設間の連携強化
施設間の情報共有等を行い、市内滞在時間の拡大に向けた周遊ルート (市内版・広域版) の設定。

受入体制の強化

○ おもてなしの向上

1. まちの案内人会の拡充
会員数の増加を図るとともに、活躍の場の創出に努める。

2. 外国人観光客受入研修の実施
市内業者を対象に、「インバウンド研修」を開催し、外国人観光客とのコミュニケーション能力向上支援を行う。

新 3. アンケートの実施
市内主要観光施設においてアンケートを実施し、観光客ニーズと消費傾向を把握する。

【香南市観光の発信】

香南市の観光情報を各媒体を活用し発信し、「香南市の観光」へのきっかけを生む取り組みを実施する。

⇒ 観光施設入込客数 累計 600万人へ

【香南市観光の育成】

➢ 香南市の観光拠点の整備
⇒ 2か所の拠点化(新規1・既存1)

➢ 香南市・香美市・南国市と連携した周遊観光の実現
⇒ 観光施設入込客数への寄与
⇒ 観光施設・宿泊施設・飲食店等の収入増加へと繋げ、新規雇用へと繋げる。

⇒ 香南市の観光を確立させていくことで、新規拠点の誘致へと繋げる。
⇒ 観光施設入込客数 累計 600万人へ

【受入体制の強化】

➢ おもてなしの向上
⇒ 満足度向上によるリピーター・香南市ファンの創出

⇒ 外国人対応可能な人材を確立し、外国人が訪れやすい環境を整備。

(R6年度末) 数値目標 「観光施設入込客数 累計 600万人」の達成へ!

★ R2年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】
・スポーツツーリズムの推進事業 (新規)

☆ R2年度 他分野との連携【PICK UP!】
・観光サイクリングイベントの開催 (サイクリング委員会・農業部会) ・市内水産物の利活用 (水産部会) 等

数値目標(単位)	基準値 (R元年度 策定時)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
①サイクリングイベント・大会参加者数	206	500人 /年	720人 /年	840人 /年	960人 /年	1,130人/年	4,150人(5年間累計)
②サイクルサポーター数(事業所・団体)	—	10団体 /年	5団体 /年	5団体 /年	5団体 /年	5団体 /年	30団体(5年間累計)

※ イベント・大会の参加者数 … ①三宝山ヒルクライム(市)、②ツール・ド・トレイン(香南市観光協会)、③ポタリング(NPO法人 高知Cycling Project Maze-Cle)、④ヤシシクロクロスカップ(高知県シクロクロス実行委員会)、⑤3市ロングライド(調整中 ※ R3より)、⑥健康サイクリング(市民向け)
 ※ サイクルサポーター … 香南市の自転車利用促進の考えに参画し、活動する事業所・団体(事業所も団体としてカウント表記)



(R2年度)

①「サイクリングイベント・大会参加者数 500人」

②「サイクルサポーター数 10団体」

現況	事業	R2	R3	R4	R5	R6 (目指すべき姿)	
現状	事業	令和2年度の取り組み					
(R2年度)	(サイクリスト誘致)	<p>○ サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 新・サイクリングターミナル外でのレンタサイクルを開始(ヤ・シィパーク、絵金蔵など) ※ サイクリングターミナルを中心とした相互貸し出し・乗り捨て等の施設間での取り組みを強化しレンタサイクル増に繋げる 新・「香南市=高知県東部のサイクリング地」としてPRを行う(パンフ作成・県外イベントでのPRなど) ・ 自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、市内飲食店等の収入増に繋がるサイクルイベント・大会の実施(宿泊や飲食店も利用する) (三宝山ヒルクライム(R3.2月)、観光協会主催イベント、Maze-Cle主催イベント、シクロクロス等住民とも交流が図れるイベント) 新・香南市だけでなく、広域連携したサイクルイベント・大会の実施に向けた企画検討・調整(新)三市ロングライド(R3~予定)) ・ 市民団体「Maze-Cle」と協力し、官民協働による観光サイクリスト誘致と市内の案内を行う 					<p>【観光(サイクリスト誘致)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ イベント・PRによる「市外県外のサイクリストが来なくなるまち香南市」の定着。 ➢ 市内観光施設・宿泊施設・飲食店等の収入増へ繋げる。 <p style="text-align: right;">イベント・大会参加者延べ3,450人</p>
(R2年度)	健康づくり(市民向け)	<p>○ 自転車を活用した健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康パスポート事業を活用し、健康サイクリングイベントを開催 【 4回/年 】 ・ 健康増進のための自転車を活用した広報啓発活動を行う 【 4回/年 】 ・ 視覚障害者や高齢者でも自転車を楽しめるようタンデム自転車を活用したイベントや、パイロットを育成する教室を開催し、健常者と垣根無く自転車を楽しんでもらう 【 2回/年 】 ・ サイクリングターミナルのタンデム自転車(初期導入車)を小型のものに入れ替える 【 2台/年 】 ・ タンデム自転車を活用できる施設や市事業と連携し、活用機会の拡大を目指す 新・環境にやさしい乗り物として認知してもらい、利用者(通勤者)増に繋げる ※ 市内事業所(市役所含む)への通勤手段として自転車を活用してもらおう。(サイクルラック・駐輪場整備補助等を企画立案しサポート) ・ 自転車乗車時ヘルメット着用率100%を目指す取り組みを立案し、順次実行する ・ 一般の自転車利用者、各学校等での交通安全教室の開催 <p>○ 観光サイクリストの受け入れ体制に向けた取り組み(関係人口)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新・サイクルサポーター(仮称)(組織ぐるみで日常交通やサイクリストにやさしいサービス等を行う事業者・団体)の制度を構築し、登録・参加してもらう(※イベント開催時等にもスタッフや出店などで参加してもらう) 新・自動車利用者とサイクリストが共存し、安全に道路を通行するため、お互い安全な環境を構築するための「自転車追い越し思いやりステッカー」を作成、配布して活動してもらおう【200枚】→事業所・団体単位での参画でサイクルサポーターに認定 					<p>【健康づくり(市民向け)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 自転車で市民が健康になる健康づくり、安全な自転車利用の促進を通じて、自転車利用の関心を高めつつ、利用促進を図る。 ☞ 観光サイクリストへの理解も深まる。 <p style="text-align: right;">健康イベント参加者延べ700人</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 観光サイクリストに対する受け入れ体制(関係人口)を構築し市民参加型でイベント等のサポートを行う。 <p style="text-align: right;">サイクルサポーター延べ30団体</p>
(R2年度)	環境整備(ハード整備)	<p>○ サイクリストにやさしい環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 新・市庁舎・市内観光施設・宿泊施設・飲食店等へのサイクルオアシス(サイクルラック)導入推進 【R2…40箇所(市施設25+事業所15) R3~15箇所/年】 ・ サイクリスト目線での道路環境整備(ブルーライン、施設や店舗案内等)を行う 新・国、県と連動した基盤整備(物部川河川敷自転車道整備、ヤ・シィパーク西自転車道延伸等) ・ サイクリングターミナルの活用、再整備の検討 					<p>【サイクリストのための環境整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 環境整備による「サイクリストにやさしいまち「香南市」」の定着。 ■ 観光…市内観光施設・宿泊施設・飲食店等の収入増へ。 ■ 健康…健康になると共に、自転車に理解があるまちとしての意識づくり。 <p style="text-align: right;">サイクルラック設置延べ100カ所</p>

(R6年度末)

① サイクリングイベント・大会参加者数 累計 4,150人

② サイクルサポーター数 累計 30団体

★ R2年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】
 新 「香南市自転車活用推進計画」を策定し、自転車を活用したまちづくりの指針とする
 ☆ R2年度 他分野との連携【PICK UP!】
 ・ 「自転車×○○体験イベント」の開催(○○=釣り・みかん狩り・市内観光地・うまいもん巡りなど) (水産・農業・観光部会)

数値目標 (単位)	基準値 (R元年度 策定時)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
(協議中)	-						

現
状現
況
事
業

R2

R3

R4

R5

R6

(目指すべき姿)

令和2年度の取り組み

(R2年度)

(協議中)

住環境の整備・支援

○ 住環境の整備事業

- ・住宅リフォーム制度の促進 (香南市住宅リフォーム推進事業費補助金100件)
- ・市営住宅リフォーム制度の促進 (20戸/年 のリフォームを実施)
- 新** 宅地整備事業の実施 (※ 協議中)

○ 住環境の耐震化事業 【香南市耐震改修促進計画より】

- ・住宅耐震診断事業 (香南市木造(非木造)住宅耐震診断費補助金 80件)
- ・住宅耐震改修費補助金 (香南市住宅耐震改修費等補助金 設計 70件)
(香南市住宅耐震改修費等補助金 工事 70件)
- ・コンクリートブロック塀耐震対策事業 (香南市ブロック塀等耐震対策事業費補助金 25件)

【住環境の整備を支援する取り組み】

- 住環境のリフォーム整備を進め、生活環境の向上を図ることで、社会減(転出)抑制に努める。
 - 住環境の耐震化を図り、安心安全なまちづくりへとつなげる。
 - 移住施策や防災計画、産業の担い手確保の考え等を反映させる宅地整備に取り組み、新たな「人」の流れをつくる。
 - ・住宅リフォーム 500件
 - ・市営住宅 126戸
 - ・住宅耐震診断 345件 (R7年度末まで)
 - ・住宅耐震改修: 設計 350件 / 工事 350件
 - ・コンクリートブロック塀耐震対策 125件
- 2060年の人口 30,800人維持へ!**

空き家対策への取り組み

○ 空き家対策事業 【香南市空家等対策計画より】

- ・香南市老朽住宅等除却事業費補助金の交付 (30件/年の交付)
- ・空き家バンク事業 (登録数 のべ50件)
- ・空き家改修事業費等補助金の交付
 - ※ 空き家改修 (3件/年 の推進)
 - ※ 空き家修繕 (2件/年 の推進)



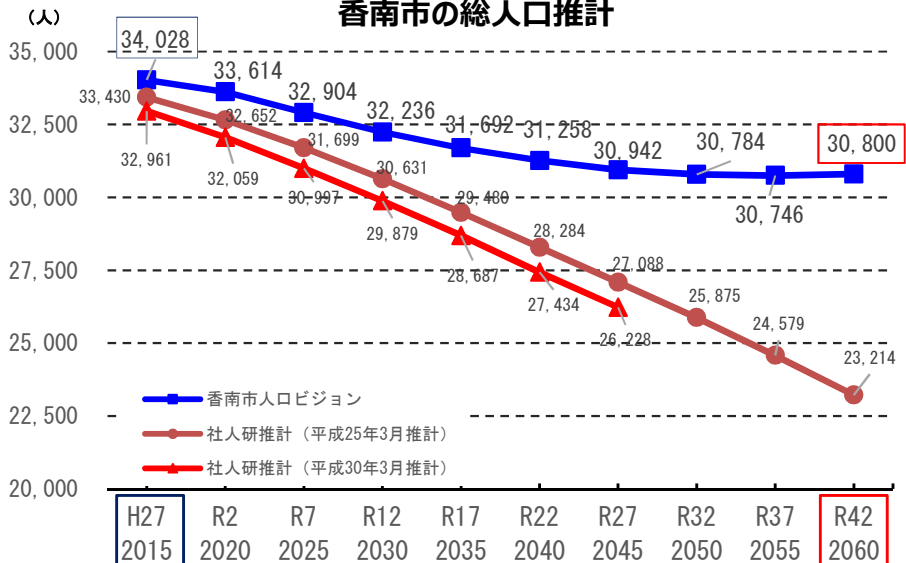
【空き家対策に向けた取り組み】

- 老朽化した空き家の除却を図り、市民が安全に、かつ、安心して暮らせることのできる生活環境を確保する。
また、この取り組みを進めることで、社会減(転出)抑制につなげる。
 - 利用可能な空き家は、ニーズに合わせてリフォーム等を行うことで再生し、活用する方法もあることから、移住施策とリンクさせる取り組みを進めていき、社会増(転入)につなげる。
- 2060年の人口 30,800人維持へ!**

(R6年度末)

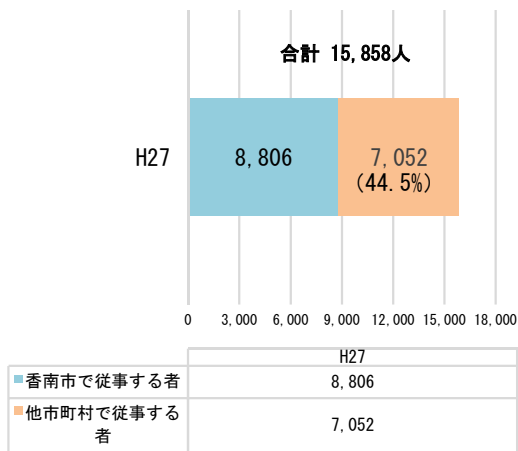
数値目標の達成へ!

香南市の総人口推計



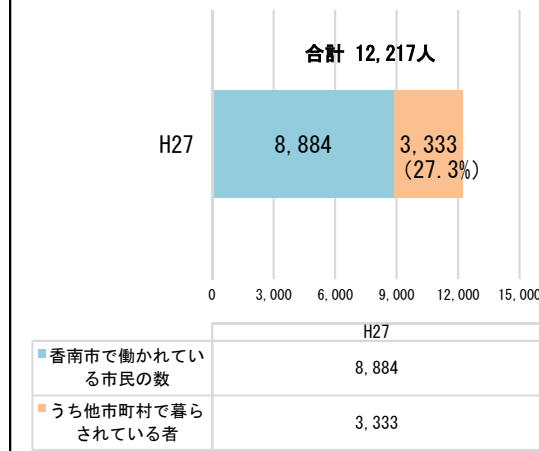
出典：国立社会保障・人口問題研究所、住民基本台帳

常住地による就業者数



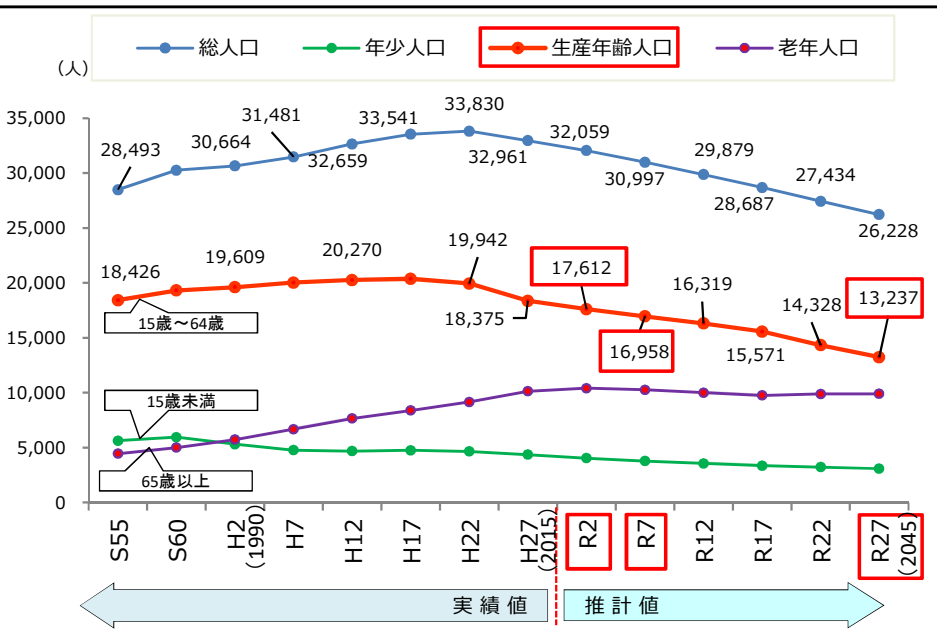
出典：平成27年国勢調査

従業地による就業者数



出典：平成27年国勢調査

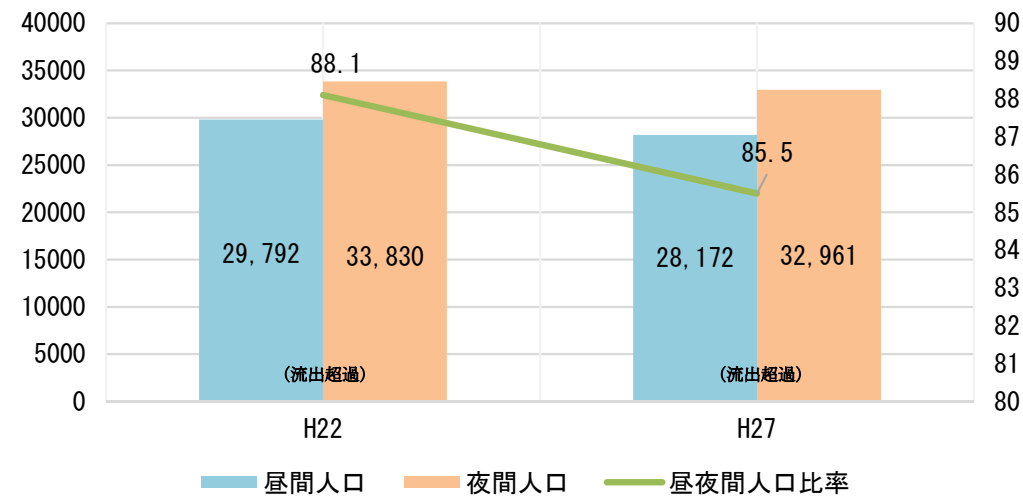
香南市の各年齢人口の推移グラフ



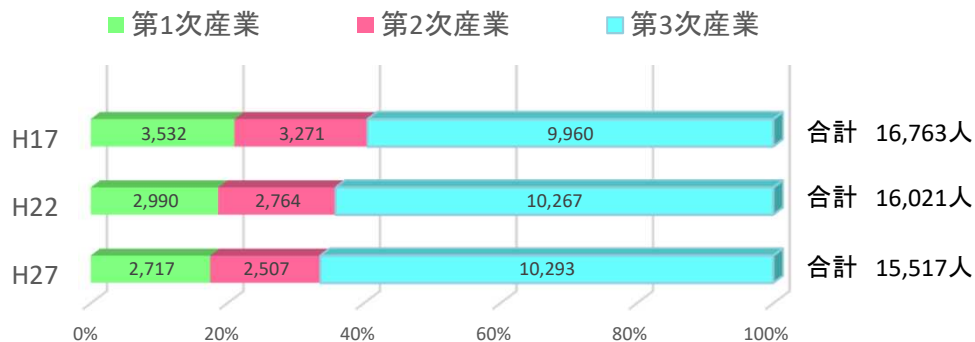
【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 【注記】R2年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ(H30年3月公表)に基づく推計値

昼夜間人口比率

出典：平成27年国勢調査

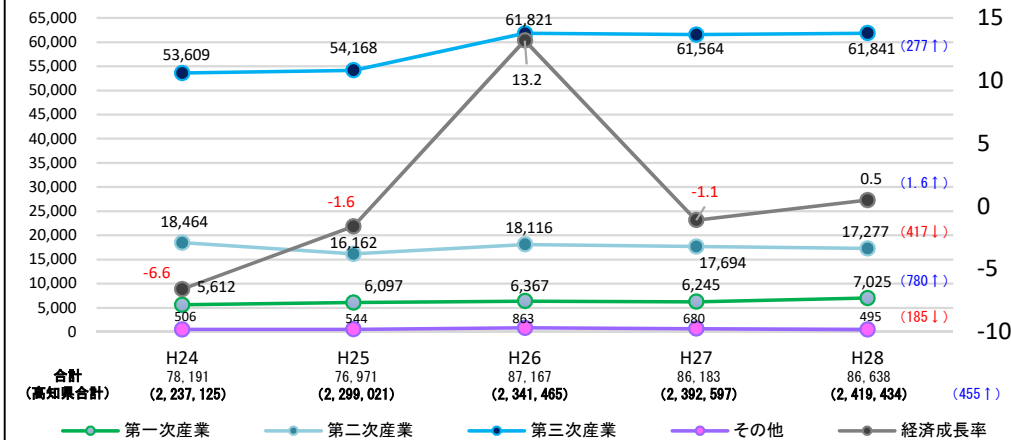


香南市の産業別就業者の推移



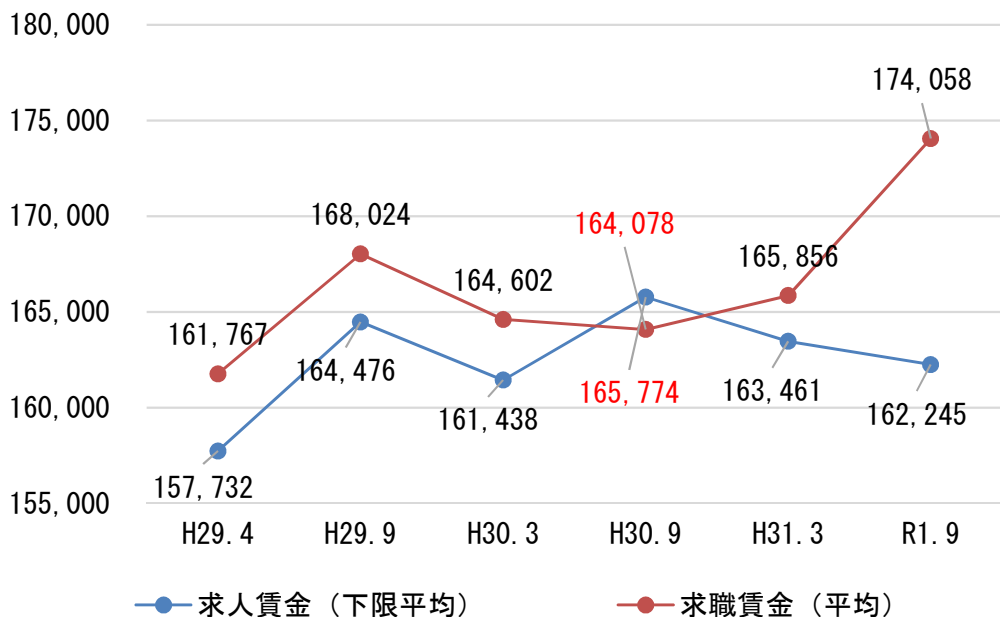
出典：平成27年国勢調査

【香南市】経済活動別市町村内総生産



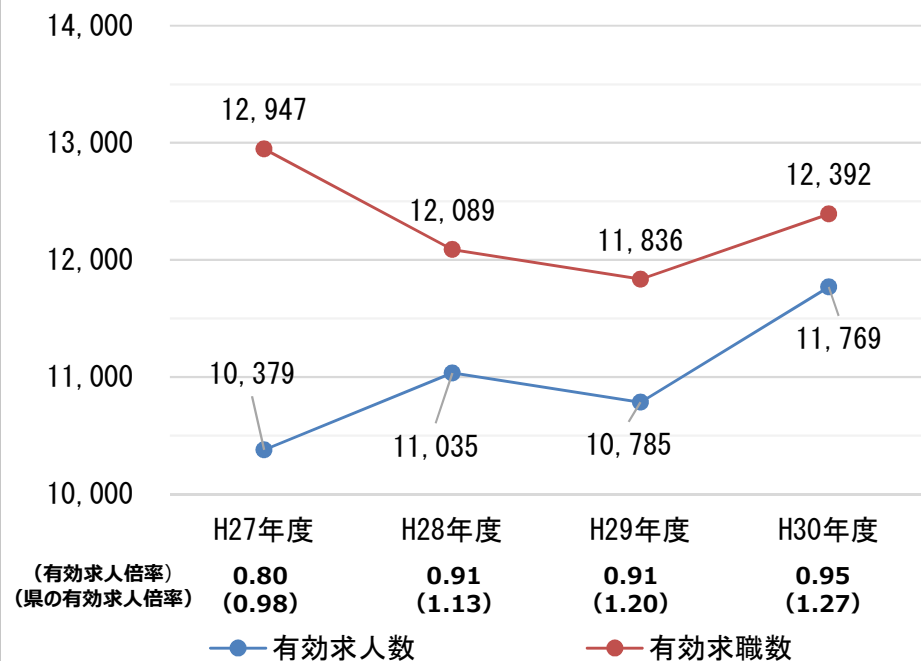
◆ 市町村経済都計の概念
 ・ 労働者や企業等の活動によって物やサービスが生産され、販売などを行うことにより生み出される新たな価値（付加価値）の合計。
 ※ 付加価値 = (物やサービスの販売額 - 生産に要した費用)

求人賃金と求職者希望額



(ハローワーク香美所管内データより)

求人・求職数および有効求人倍率



(ハローワーク香美所管内データより)